WEBサイト・ソフトウェアの紹介と解説

okayama-c

この章について

担当者が制作できていないため、掲載されていません。

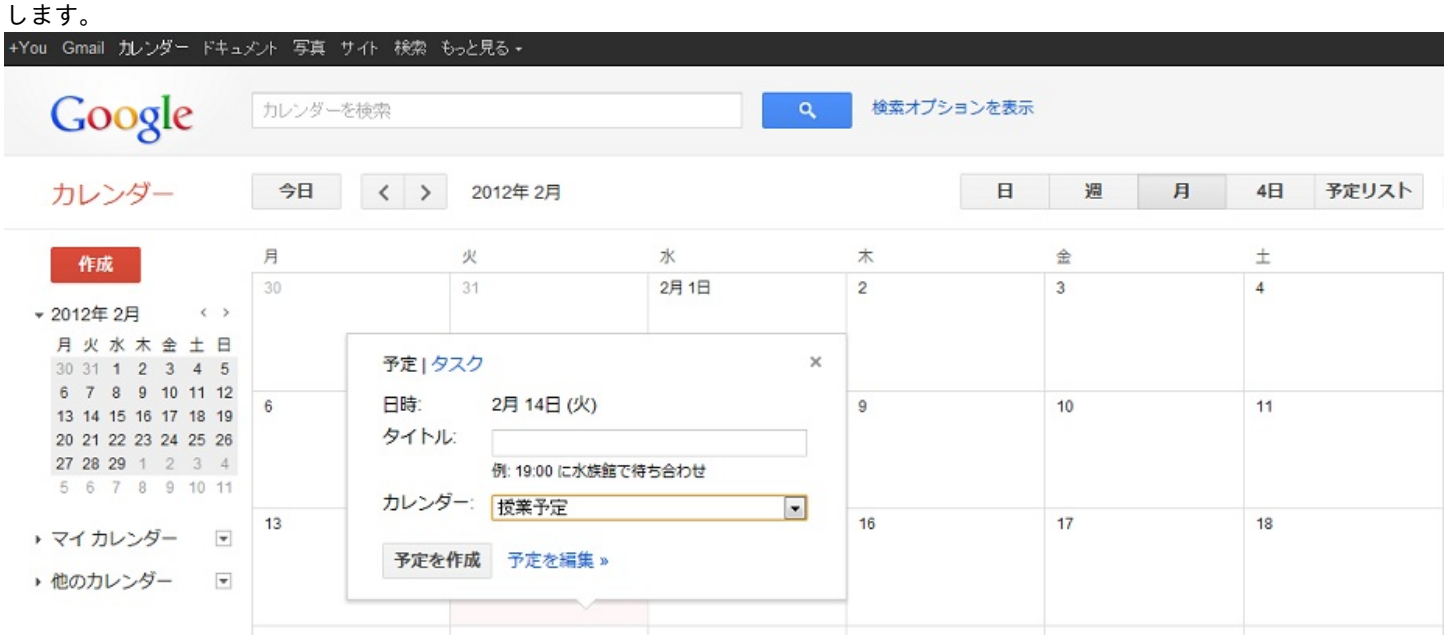
カレンダー・タスク管理

大学生や社会人になると一気に予定か増えてきます。そして、やらなければならない課題や仕事も増えるでしょう。
そんな時に便利なのが、スケージュール・タスク管理のできるWebサイトです。

【１】Googleカレンダー
　Googleカレンダーは、カレンダーに自分の予定を入力することができ、予定告知のメールが届くようにすることができます。また、１日、１週間、１ヵ月、４日など、表示される日数を変えることもできます。

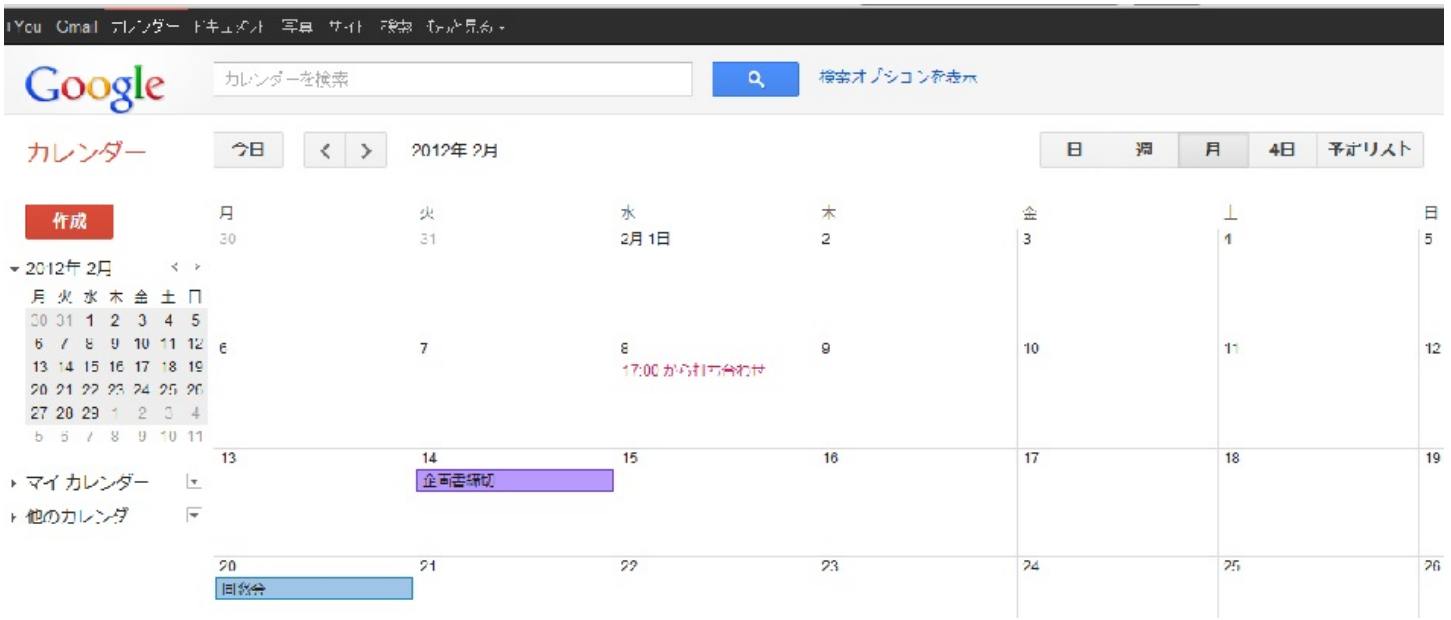
　まず、Googleにログインし、「もっと見る」のところから「カレンダー」をクリックします。

　カレンダーが表示されれば、予定を書き込みたい日付をクリックし、予定またはタスクを入力します。



カレンダー・タスク管理

マイカレンダーのところで新しくカレンダーを作り、予定を書き込むときにそのカレンダーを選択することで、予定の色分けが出来ます。そうすれば、プライベートや趣味、仕事等の区別がしやすくなります。また、予定のメールを受け取ることも可能です。



【２】checkpad

checkpadは、タスク管理ができるサイトです。タスク管理には「remember the milk」という多機能なサイトもありますが、checkpadのほうがシンプルで使いやすいです。

まず、checkpadのアカウントを作り、ログインします。

そして、リストのところにある「新しく追加する」のボタンをクリックし、リスト名を入力して、「追加」ボタンをクリックすれば、リストが作成されます。

すると、下に枠が出てくるので、そこにタスクを入力し、「追加」をクリックすれば、タスクが登録されます。

タスクを達成したら、タスク名の左をクリックすることで、達成項目になります。

モーニングリストに設定すれば、自分のパソコンや携帯電話にメールが届くようになります。時間やメールアドレスは「設定変更」で変更できます。また、他の人とリストを共有することもできます。

携帯でログインし、リストやタスクを増やすこともできますが、リストを減らしたり、モーニングリスト設定を解除したりするのはパソコンでしなければなりません。

ファイル変換

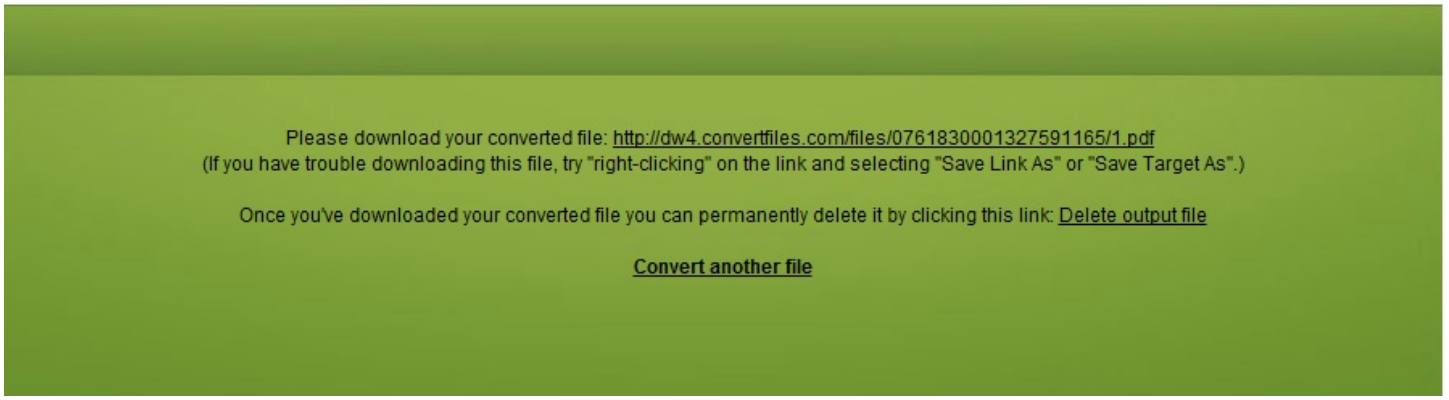
　予定の中にはレポートや企画書といったものが多いのではないでしょうか。最近では、そのような情報の引き渡しはデータで行われることが多くなってきています。そして、Word文書をPDFにするなど、ファイルの変換をしなければならないことも多くなっています。
　しかし、今では、PDFは「Adobe Acrobat.com」や「PrimoPDF」といったサイトで簡単に作れ、WordやExcelでも保存時にPDFを選択することができる様になってきています。
「MergePDF」ではいくつかのPDFを一つにまとめることもでき、「PDFescape」を使うと、PDFにした後でも編集ができます。

　さて、ここでは、ファイルの変換が出来るWebサイトを紹介します。
　「Convert.Files」というサイトでは出力形式は限られていますが、形式を選択してファイル形式を変換することができます。また、ユーザー登録は不要です。

ファイル変換

「Browse」と書かれているところをクリックし、変換したいファイルを選択します。そして、「Input format」と書かれているところの右で選択したファイルの形式を選びます。もし、ダウンロードするリンクをメールで送ってほしい場合はその下のチェックボックスをクリックします。次に、「Output format」と書かれているところの右で変換したいファイル形式を選びます。以上が出来たら、「Convert」ボタンをクリックして、変換完了です。

変換後は、ダウンロードできるURLが表示されるので、そこをクリックしてファイルを保存します。



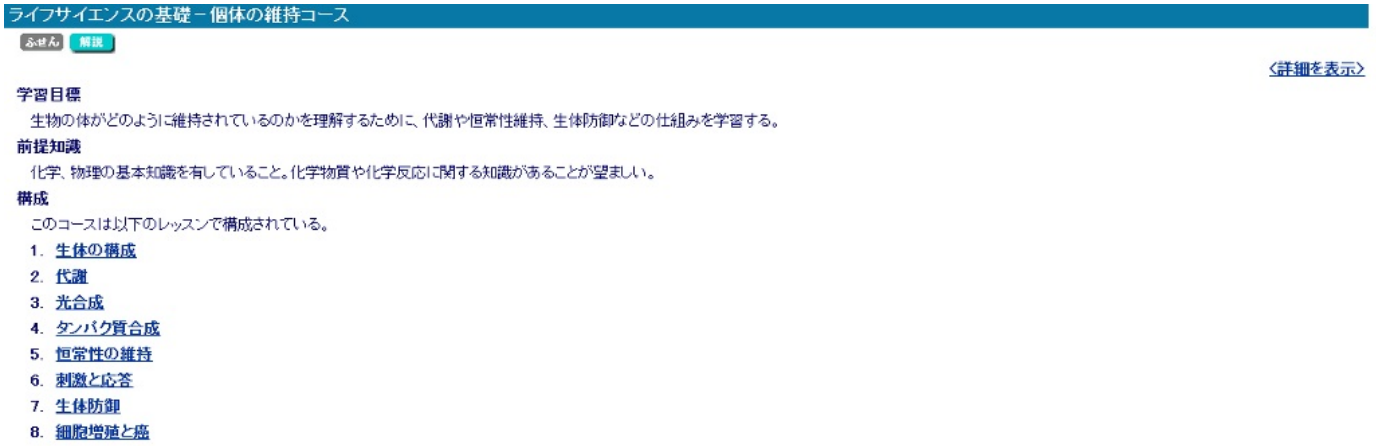
さて、学校や会社で使えるWebサイトとして、様々な学習のできるサイトがあります。
例えば、「Open Course Ware」というサイトでは、他大学の授業を１コマ全て無償で聴講することができます。また、NHK放送の「ハーバード白熱教室」は、パソコンでもYouTube等で見れることができ、字幕を出すこともできます。　「アルクネットアカデミー」は岡大のHPの在学生・保護者の方のところからリンクがつながっていて、語彙診断テストなどができます。「Lang-8」では、無料の会員登録が必要ですが、自分が書いた文章の間違いをその言語を母国語として利用している人たちに添削してもらうことができます。

ここでは、eラーニングのサイトについて紹介します。

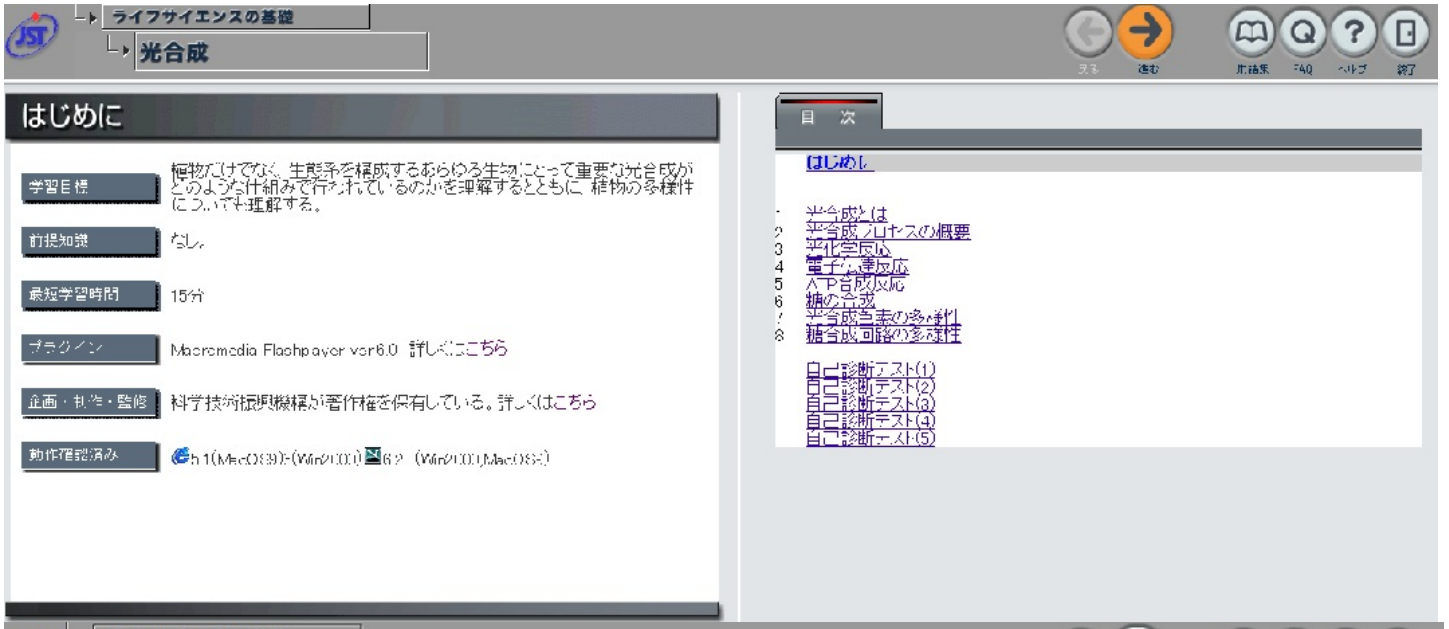
【１】Webラーニングプラザ
主に技術者向けです。音声付きで、複数のレッスンで構成されたコースを学習できます。しかし、コンテンツやカテゴリが少なく、毎回読み込みをしないといけないので少々時間がかかるという欠点もあります。

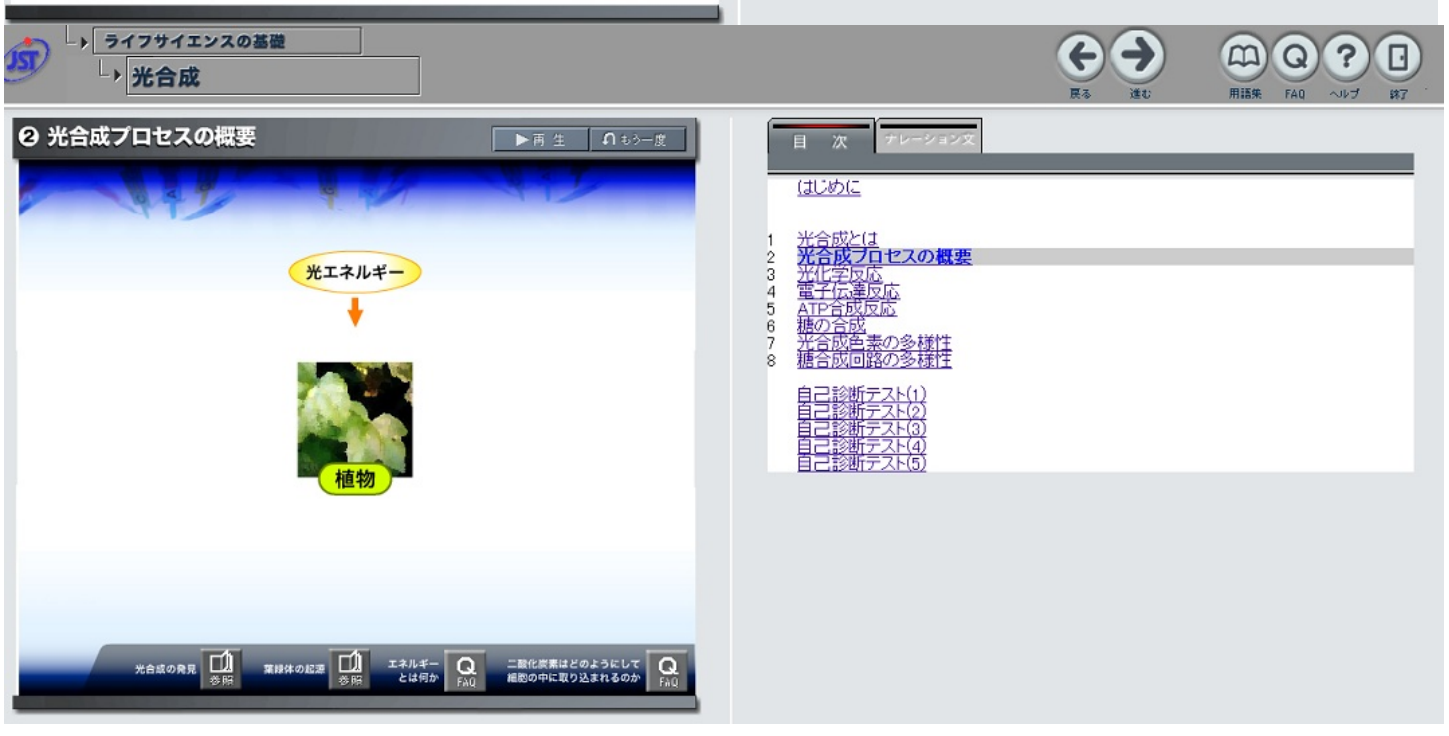
まず、学習したい教材をクリックします。すると、細かいコースが表示されるので、学習したいコースを選択します。

コースを選択すると、目標や前提知識、レッスン構成などが出てくるので、学習したいレッスンをクリックします。

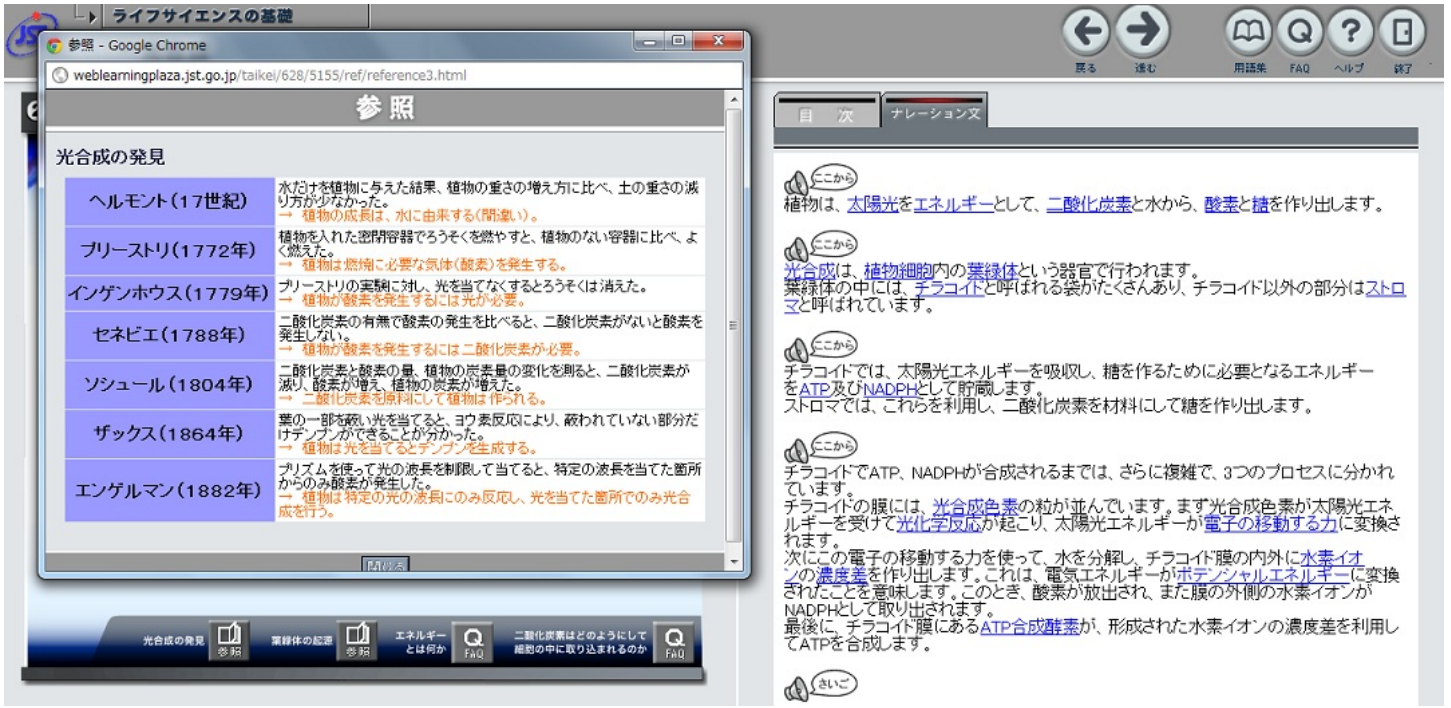


レッスンのページが表示されれば、「進む」ボタンをクリックして順番に学習していきます。
右の目次をクリックすれば、その項目の学習動画に飛ぶこともできます。





一時停止や繰り返し再生したり、ナレーション文を表示させたり、参照ページなどを見たりもできます。



「終了」をクリックすれば閉じることができます。

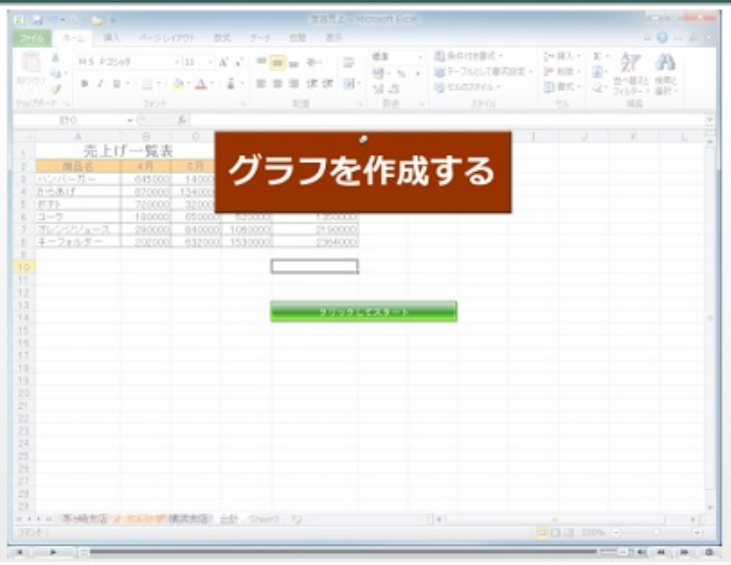
【２】　動画マニュアル

エクセルなどのソフトウェアの使い方を調べることができます。動画で音声も付いていて、比較的ゆっくりと説明してくれるので、 かなりわかりやすいです。

まず、アプリケーション名やジャンル、目的などから、使い方を知りたい動画を探します。エクセルなどの人気なものなら、ランキングなどからでも見つけられます。

見たい動画が見つかれば、それをクリックします。

グラフを作成する 基本操作



再生時間　28秒　大きい解像度で見る　[前の動画を見る | 次の動画を見る]

シェア　ツイート　11　クリップ　いいね！　985　+1　0

■ 制作者コメント
Microsoft Office Outlook 2010(マイクロソフト オフィス アウトルック 2010)の使い方、操作方法を分かりやすい動画で解説しています。新しいOffice Outloo... 制作者プロフィールページへ

Ads by Google　Excel 2007　Excel変換　Excel Manual　エクセル

解説

マニュアル カテゴリー一覧

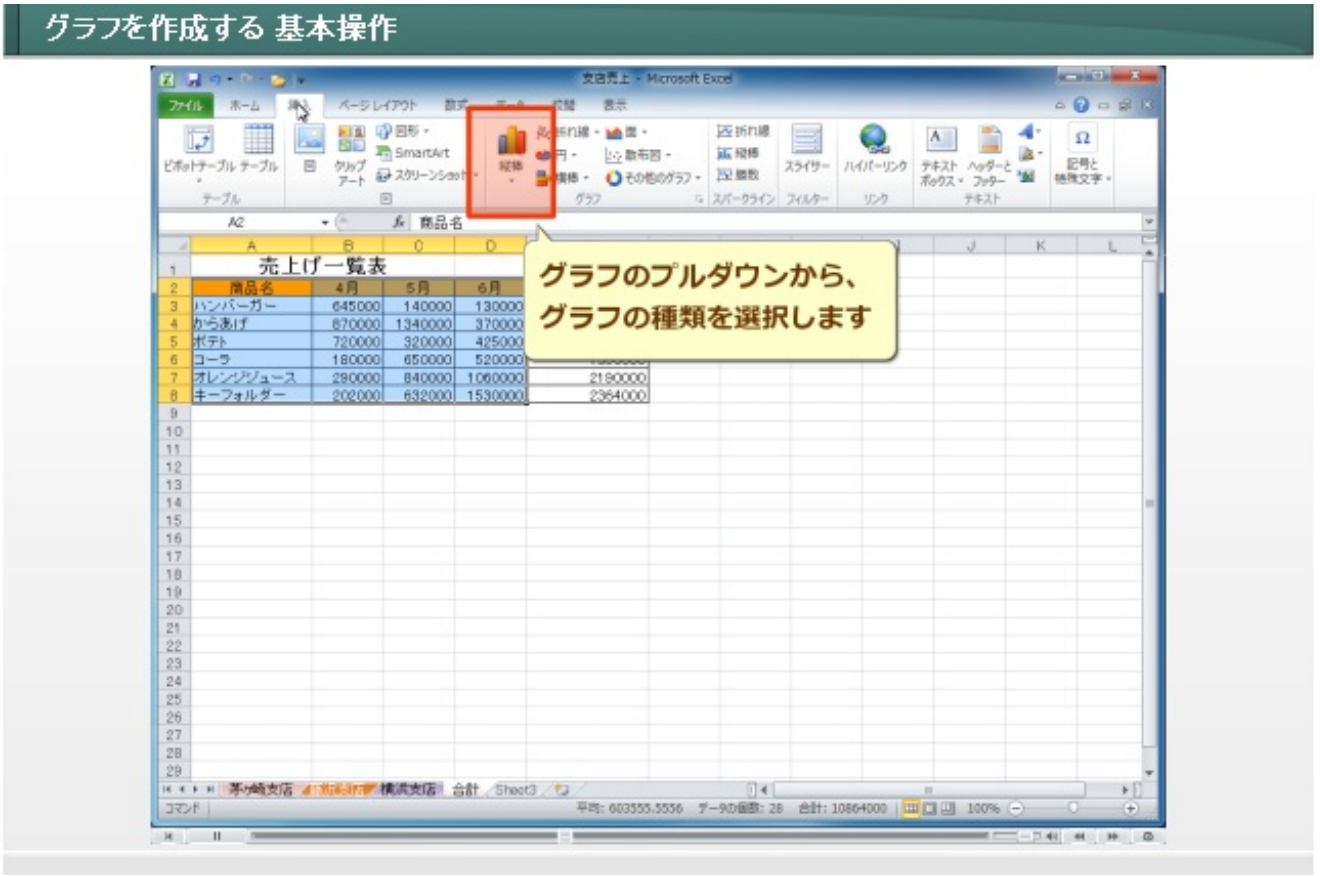
- エクセル 2010 便利機能 (1)
- Excel2010 基本操作 (11)
- Excel2010　データの入力 (8)
- Excel2010　数式を入力する (7)
- Excel2010 関数 (7)
- 書式設定 セルの書式 (6)
- 書式設定 表の書式 (9)
- 条件付き書式を設定する (6)
- Excel 2010 グラフ作成 (8)
- グラフ作成 その2 (9)
- Excel 2010 データ活用 (8)
- Excel 2010 テーブル 統計編 (5)
- データの保存 保護 変換 (9)
- Excelで印刷する (6)

Ads by Google
Excel初心者
動画ツール
関数エクセル
facebook ファンページ　webdemotwitter

Excel動画マニュアル リンク集

エクセル 2010 使い方　Excel 2010 新機能
Excel Web Apps 使い方
エクセル2007　Excel2007 見積書作成

そして、「クリックしてスタート」をクリックすれば、動画が再生できます。大きい解像度で見ることもできます。



下の方には動画の解説も少しあります。

今までに説明したほかにも利用できるサイトはいくつもあります。以下に概要を簡単に説明します。

1．オフィス系サービス
「Office Web Apps」や「ThinkFree」でWordなどのOfficeソフトが利用できます。ユーザー登録をすることで、自分のパソコンにOfficeがなくてもWeb上でWordなどを利用できますが、機能に制限があり、少々重いです。また、ネットに接続しないと使えないものが多いです。
「Facebook」でもOffice系のサービスが利用できます。

2．セキュリティサービス
ブラウザ上でウイルスチェックをしてもらうことができます。
「Symantic」のSecurity Check、「Macafee」、「Microsoft」のウイルスバスターなどでチェックできます。ウイルス駆除はできないので、駆除したい場合はソフトを購入しなくてはなりません。

5．ビジネス文書
「ProPortal文例集」、「会社で使える文例集」などで場面に応じた文例を探すことができます。
「ビジネスマナー」で冠婚葬祭のマナーについて調べることができます。
「直子の代筆」は、いろいろなケースを選択し、文章を作ってもらうことができます。ただし、ブラウザにメニューが入ってしまいます。

6．ニュース
「ニュース速報ドットコム」で各社の記事を見ることができます。
「新'sあらたにす」は、朝日、日経、読売の三社が一緒に読め、第一面の記事などを比較をすることができます。

以上のように、無料で私たちの学校生活や仕事のサポートをしてくれるWebサイトはたくさん

あります。ここで詳しく説明していないサイトも利用方法は難しくないので、ぜひ活用してみて下さい。

アンケート

　この章では現実の活動に役立つようなWebサイトを紹介します。

　まずは、アンケートについて。
　現実においてアンケートをとるとなると、大勢の人々に声をかけるなどしてデータを集めたり、そのデータを人の手で集計したり、多大な労力がかかると思います。そこで、ここではWebを利用してより簡単にアンケートをとる方法を紹介していきます。

【Facebookでのアンケート】
　今流行しているFacebook。最近企業や就活などにおいて利用されていることで有名です。そのFacebook上でアンケートが作れます。Facebook上でアンケートを作り、友達に回答協力を求めればある程度のデータが比較的楽に集まります。
　では、Facebookでのアンケートの作り方を紹介します。ここで、Facebookに登録していることは前提とさせていただきます。

　まず、Facebookのホーム画面へ行き、赤い矢印で示した「クエスチョン」という所をクリックします。

すると、下のような画面になります。

「質問する...」の部分に質問内容を書き、「回答の選択肢を追加」の部分をクリックすると任意の内容の選択肢が作れます。また、公開範囲も設定できます。全体、友達まで、自分のみ、のどれかに設定できます。

「投稿」をクリックすると公開できます。下のようにニュースフィードにアンケートが現れました。グループのみに向けての公開も可能です。つぶやきと同じですね。集計結果はすぐにこの画面に反映されます。誰がどこに投票したのかまで分かってしまうのが難点です。

　ここまではFacebookでのアンケートのとりかたを説明しました。ですが、Facebookのアンケートだと、対象がFacebook利用者に限られる、簡単な質問しかできない、などの欠点があります。そこで、続いてはもっと一般的なWebアンケートを紹介します。

【アンケートツクレール】
　「アンケートツクレール」というWebサイトを紹介します。その名の通りアンケートを作れるサイトです。簡単に複雑なアンケートを作ることができます。アンケートの自動作成という機能もあり、初心者にも優しくなっています。ユーザー登録不要でかつ無料なのが非常に嬉しいです。

　利用方法を説明します。「アンケートツクレール」で検索するとすぐにこのサイトが見つかります。「アンケートを検索」というボタンをクリックすると、他の人が作ったアンケートを見て回答することができます。自分が作ったアンケートもこのサイトで公開されることになります。アンケートを作る前に他人のアンケートを見て参考にするのもいいかもしれませんね。

　ではアンケートの作り方を説明します。まずは「アンケートを作る」というボタンをクリックしてください。

アンケート

「自動で作成」と「手動で作成」の２種類の選択肢が現れます。ここでは手動での作り方を説明します。「手動で作成」をクリックしてください。基本情報の設定画面になります。タイトルや説明文を書いてください。下の画像を見れば分かるように、ここでアンケートについての色々な設定ができます。よく分からなければ初期状態のまま放置しても大丈夫です。設定が完了したら「次へ」をクリックしましょう。

　質問の作成に移ります。質問内容と回答方法を設定します。Facebookのアンケートと違い、文章での回答も受け付けることができます。質問文は自由に書くことができます。質問の種類も選べます。「単数選択」というのは回答者が一つの選択肢を選ぶ形式。「複数選択」は回答者が複数の選択肢を選ぶ形式。「一言入力」は回答者が短い文章で回答する形式。「文章入力」は回答者が文章で回答する形式です。選択肢を選ぶ形式の場合の選択肢の書き方は画像を見てもらえば分かると思います。その他に、回答必須か否かも設定ができます。全ての設定ができたら「OK」をクリックしましょう。

質問を完成させると、下のような画面になります。ここでは作った質問が回答者にどのように見えるか確認できます。問１が単数選択形式の質問で、問２が文章入力形式の質問です。「質問新規作成」をクリックすると新しい質問を作れます。作成済みの質問の再編集も可能です。作成済みの質問の内容を変えたり、順番を変えたり、削除したり、その質問の次の順になるように質問を作れたりします。全ての質問を作り終わったら「質問作成終了」をクリックしてください。

最大２０個の質問が作れます。文章入力は400字も受け付けることができます。

制作者情報の入力を求められます。ホームURL以外は必須項目なのでちゃんと入力しましょう。入力したら「次へ」をクリック。

次に進むと回答を受け付けるか否かを聞かれるので受け付けるように設定しましょう。すると、アンケートが完成します。提示されたURLを宣伝しましょう。接続すれば誰でも回答することができます。

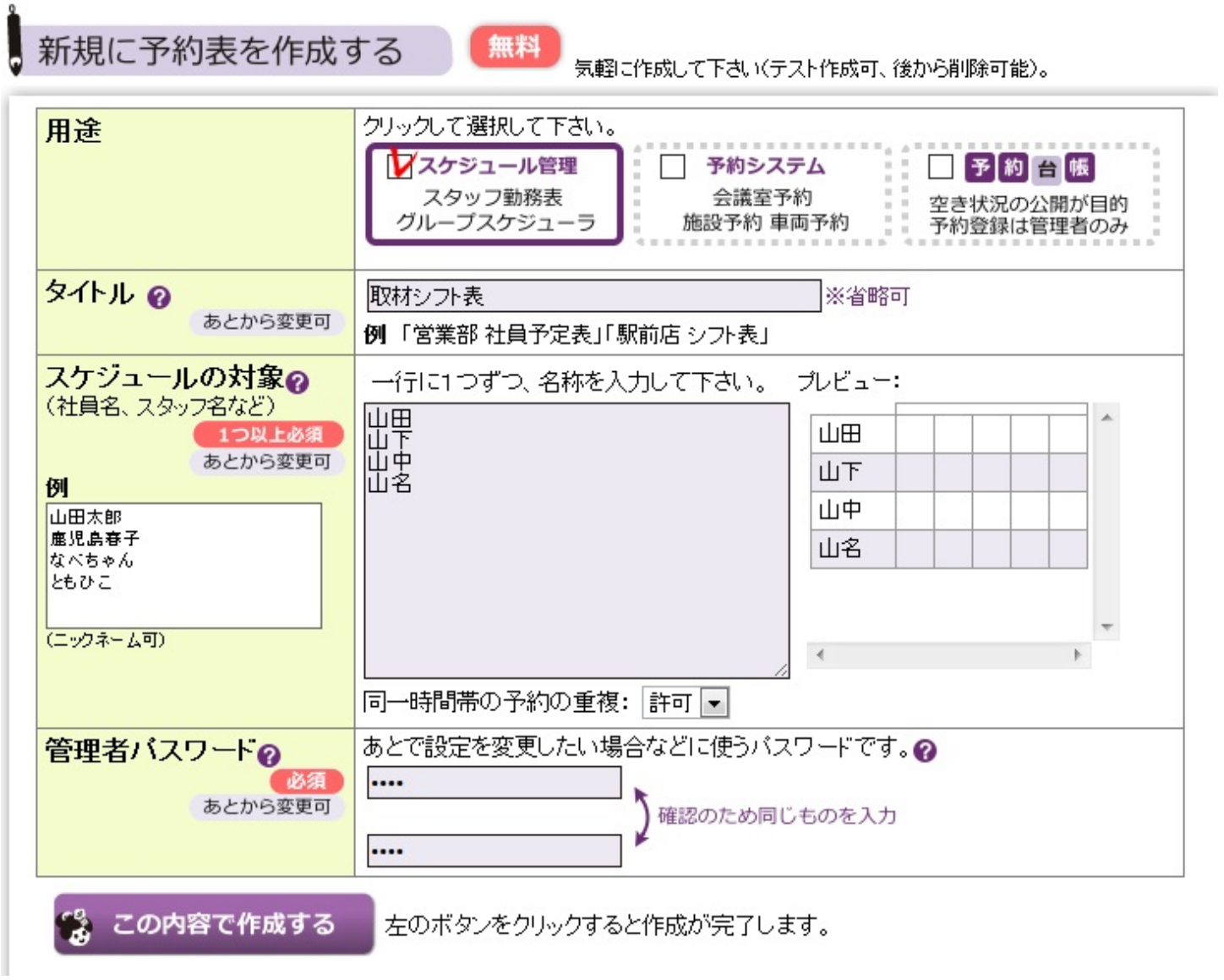
以上で、アンケートに関しての説明を終わります。

　続いては、活動のサポートをするWebサイトとして「りざぶ郎」を紹介します。りざぶ郎はスケジュール管理のWebサービスです。個人のスケジュール管理というよりは、複数人の団体行動におけるスケジュールの管理に向いています。企業のプロジェクトの計画や、大学のサークル活動の管理などに役立つでしょう。
　りざぶ郎の利点は使いやすい所にあります。初心者でも作りやすいように細かな説明がされており、テスト作成も歓迎！と銘打ってあります。ユーザー登録不要で無料ですので気軽に利用できます。スマートフォンに対応しているものいい所ですね。

　下がホーム画面です。「りざぶ郎」で検索するとすぐ見つかります。さっそく「予約表の作成」をクリックしましょう。

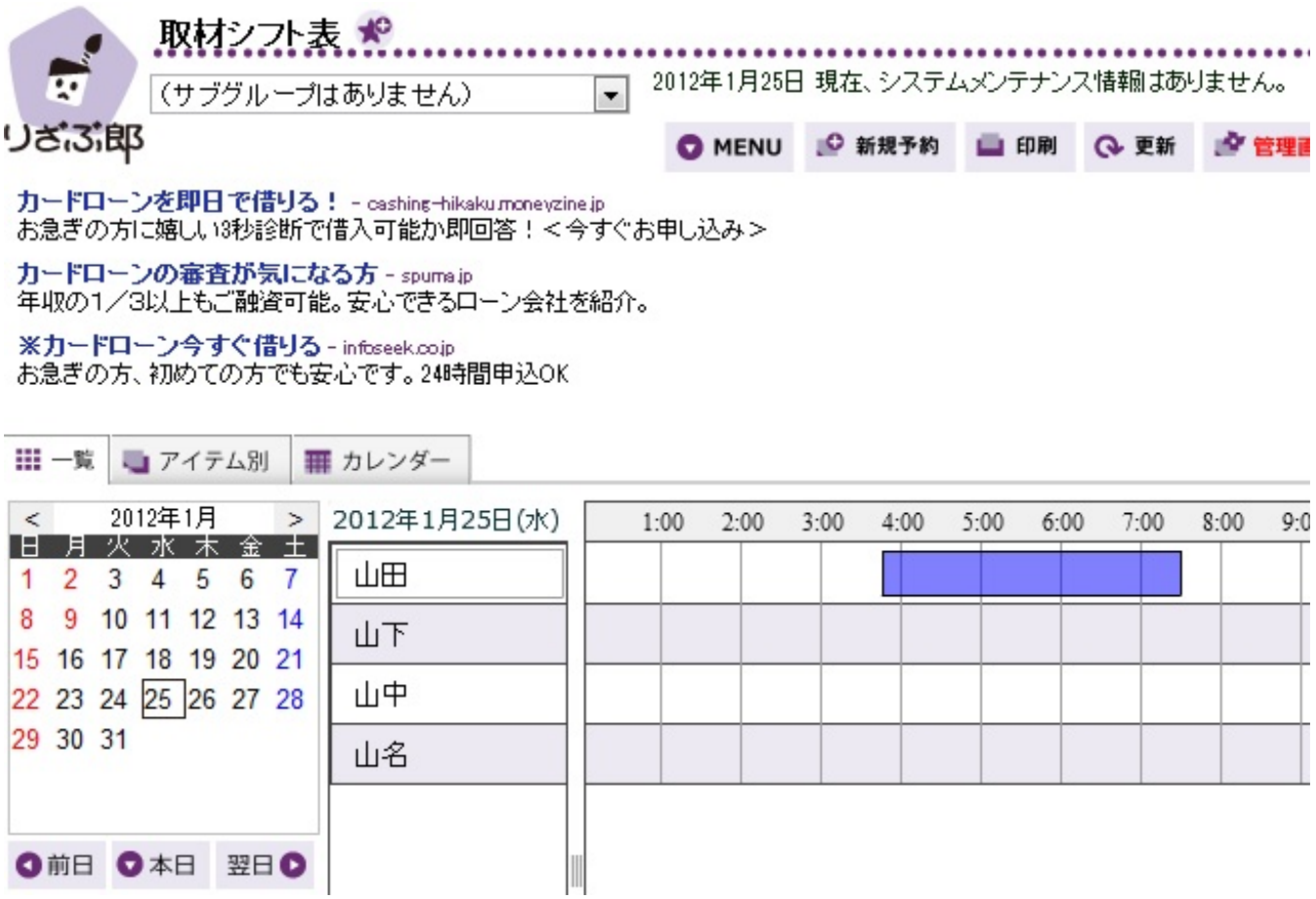
　下の画面に移ります。ここではスケジュール管理としての利用方法を説明しますので、用途は「スケジュール管理」を選択します。タイトル、対象、パスワードを設定してください。所々に見える「？」をクリックするとヘルプが見れます。それぞれに例が示されていたりもして、とても分かりやすいようになっています。ここでの設定は全て後から変更可能な点も優しいです。

　設定が終わったら「この内容で作成する」をクリックしてください。



　下の画面になります。一応これで完成です。この画面のURLから誰でも接続できます。URLを知らせるなり、印刷して配るなりして自由に利用してください。

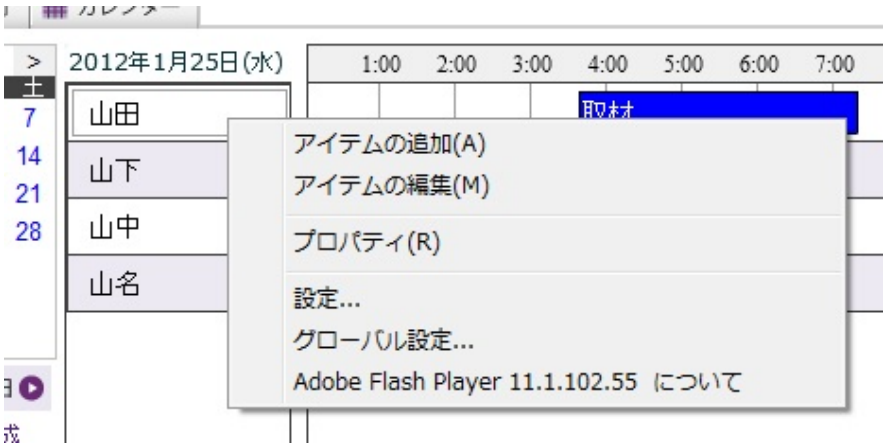
　では簡単に使い方を説明します。試しに、２５日の山田くんの予定を設定してみます。カレンダーの日付けをクリックすれば、その日の予定を組むことができます。山田くんの欄の任意の時間の範囲をドラッグしてみましょう。ここでは3:50～7:00の間に山田くんに仕事があるものとします。ドラッグすると下の画像のように青いバーが現れます。



「新規予約」という画面に映ります。「時刻」で細かい時刻を設定し直せます。「テキスト」で表に現れる内容を設定できます。その他設定が完了したら、「OK」をクリックしましょう。「キャンセル」で戻ることもできます。

山田くんの予定に取材が増えました。

山田くん達の欄を右クリックすると表に現れる人を増やすことができます。「アイテムの追加」をクリックしましょう。

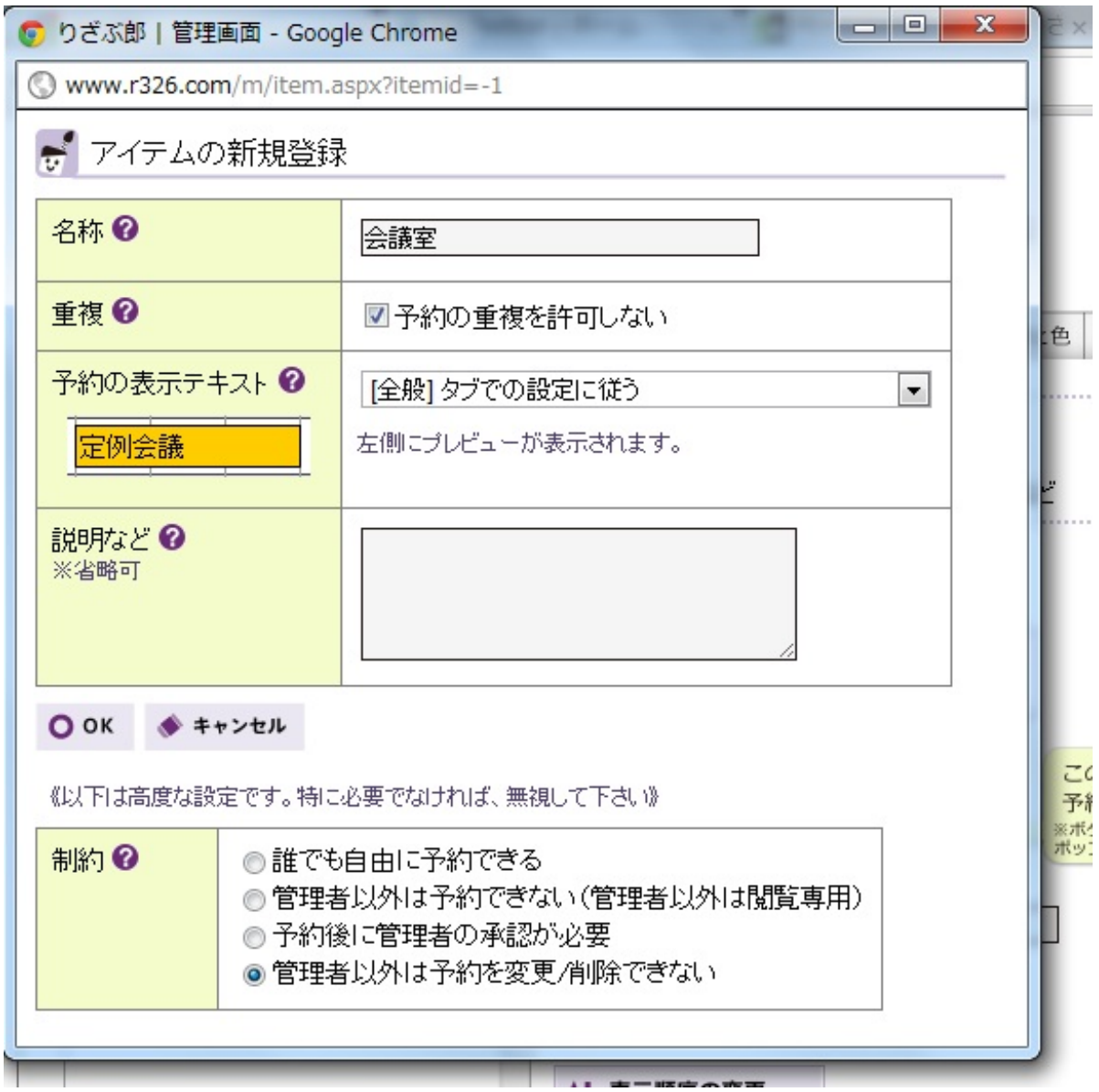


「管理ページ」から設定してください、と言われることもあるので、その時はそれに従いましょう。下の画像は管理ページです。管理ページでは様々な設定ができますが、どうしても理解しておくべき項目は「予約アイテム登録」のみだと思います。今回はそれのみを説明します。

予約アイテム登録では、「アイテム」の編集ができます。アイテムは今回の場合山田くんや山下くん達のことを指します。アイテムを増やしたり、既存のアイテムを編集したり、削除したりできます。今回はアイテムの増やし方を説明します。

それではアイテムを増やします。「アイテムの新規登録」をクリックしてください。

下の様なウィンドウが現れます。新しいアイテムの設定をしてください。アイテムは、人に限りません。ここでは会議室を増やしてみます。「名称」に会議室と書き込みます。「重複」は、同じ時間に複数の予定がある状態を許すか否かを意味します。同じ時間の１つの会議室で２つも３つも会議は行えないので、許可しないように設定しました。「予約の表示テキスト」はそのままで大丈夫です。特に設定したい場合だけ編集すればいいと思います。



「制約」は、この管理表のURLを皆に教えた際、皆がそのアイテムの予定を編集できるかどうかを設定します。ここで管理者とは表を作ったあなたのことです。今回この会議室は私の許可なく使われたら困るので、管理者以外は予約できないように設定しました。予約の際最初に設定したパスワードが聞かれるようになります。

設定が全て終わったら「OK」をクリックしてください。

　アイテムに会議室が増えました。山田くんと同様の方法で予約を設定することができます。今回は２４日に企画会議を設定してみました。

　これでりざぶ郎の説明を終わりたいと思います。りざぶ郎には他にも様々な機能がありますが、ここで説明するには多すぎますので、残念ですが割愛させていただきます。皆さんがりざぶ郎を使う際にはぜひ色々試してみてください。

Windowsの効果的な利用方法について

ショートカットキー
まず、ショートカットキーとはマウスを一切使わずにWindowsを操作できるキーのことです。マウスを使うとなるとマウスを使うための場所が必要となったり、コードがあるものではコードが邪魔になったりします。また、タッチパッドの場合は精度や感度に難があることがあります。
ショートカットキーで主に使われるのは次の3個のキーです。

1. Winキー
Winキーとはそれを押すだけではWindowsのスタートメニューを表示できます。
スタートメニュー内の操作は、上下左右の矢印キーやTabキーを使用できます。
「すべてのプログラム」は使いたいメニュー（英数字で始まる名称）の頭文字のアルファベットキーで操作できます。
たとえば、「NoEditor」を起動したい場合、
[Win]→[Tab]→[すべてのプログラム]→[N]→[NoEditor]
となります。
タスクバーのキー操作は[Win]+[T]でできます。[Win]+[数字]でソフトの切り替えも可能です。
また、[Win]+[Tab]を入力すると3Dの形でウィンドウの切り替えが可能です。
（2Dでの切り替えは[Alt]+[Tab]で可能です。）プログラムをもっと早く起動したいという方は[Win]+[R]を入力するとファイル名を指定して実行することができます。
たとえば、[Win]+[R]+[calc]+[enter]と入力すると電卓プログラムが素早く起動できます。

2. Altキー
これは各ソフトウェアのキー操作に必要になります。
たとえば、Window Internet Explorer の場合,Alt キーを押すとメニューバーが出てきます。そこで現れた様々なメニューについているアルファベットを押すとそのメニューを実行することができます。
例；；[ファイル]:[Alt]+[F]、[編集]:[Alt]+[E]、[表示]:[Alt]+[V]
ウィンドウのキー操作は[Alt]+[Space]でできます。その後の操作は表示されたメニューの後ろについているアルファベットに従えばできます。[Alt]+[F4]で今操作しているソフトの終了ができます。

3. Ctrlキー
これはタブ形式メニューの操作に必要になります。
たとえば、Window Internet Explorer の場合,
[Alt]+[T]+[O]（インターネットオプション）
この状態で[Ctrl]+[Tab]を入力するとメニューの選択ができます。（[Ctrl]+[Shift]+[Tab]と入力

すると逆順になります。）また、[Shift]+[F10]でマウスでの右クリックと同じ操作が行えます。
そのほかに必須のショートカットキーとして、
タスクマネジャーの起動:[Ctrl]+[Shift]+[Est]、システムのプロパティ:[Win]+[Break]、
デスクトップの表示:[Win]+[D]などがあります。
もっと多くのショートカットキーが知りたい人はWindows内のドキュメントに列挙されているので[Win]+[Tab]+[ヘルプとサポート]+[ショートカット]で検索+[ショートカットキー]で確認することができます。

Windowsのカスタマイズについて

カスタマイズ（PCの設定の変更）をすることのメリットは、自分自身がPCを使いやすくなることと作業が効率よくできるようになることです。
たとえば、タスクバーについてカスタマイズしてみるとします。
デフォルトのままだとタスクバーは画面の下についています。そのままでも構いませんが、キーボード操作中に肘がマウスにあたり、カーソルが右下に移動し、デスクトップが表示されることがあります。それを解消するために、設定を変更し、タスクバーを上下左右に移動することができたり、自動的に隠すことができます。[コントロールパネル]→[デスクトップのカスタマイズ]→[タスクバーとスタートメニュー]から変更できます。タスクバーを右クリック→[プロパティ]からでも変更可能です。
また、マウスをカスタマイズすることで作業効率の向上にもつながります。
マウスポインタを自動的にボタン上に配置したり、[Ctrl]を押すことでマウスの場所を表示することができるようになります。[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]から変更できます。
ほかに、クリック方法をカスタマイズすることも可能です。ダブルクリックなら動作が遅いときクリックを何度も続けてPC自体がフリーズしてしまうこともあります。それを解消するためにシングルクリックでプログラムを実行できるように変更できます。[コントロールパネル]→[デスクトップのカスタマイズ]→[フォルダーオプション]からできます。
いつもPCを使うので毎回シャットダウンをするの
が面倒だと思うならスタートメニューのシャットダウンと表示されている部分をスリープに変えることができます。
[コントロールパネル]→[デスクトップのカスタマイズ]→[タスクバーとスタートメニュー]から変更することができます。
もっとも初歩的なものとしては、[Ctrl]+[C](コピー),[Ctrl]+[V]（貼り付け）, [Ctrl]+[X]（切り取り）,[Ctrl]+[S]（上書き保存）, [Ctrl]+[Z](元に戻す),[Ctrl]+[Y]（進む）などがあります。
このようにさまざまなショートカットキーが存在するのでこれらを使いこなせるとPC操作が格段に効率化されます。

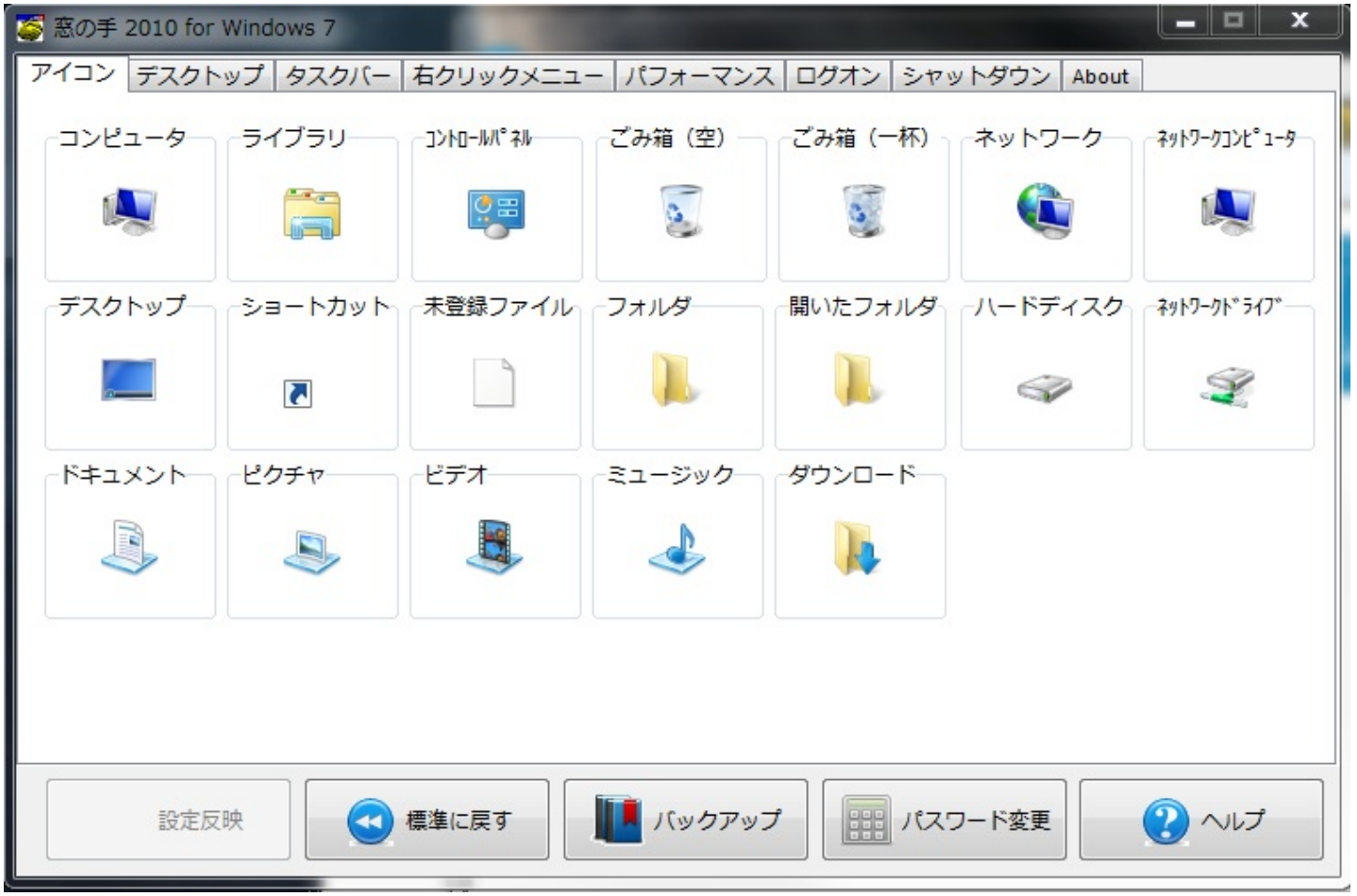
フリーソフトウェアとその利用方法について

まず、フリーソフトウェアとは、ソフトウェアのうち、フリーソフトウェア財団が提唱する自由なソフトウェアを指す。大半のフリーソフトウェアは無償（フリー）として配布されているが、定義に従えば、必ずしもすべての配布が無償ということではありません。つまり、無償で利用できるソフトウェアとは異なる概念となっています。
そこで、ソフトウェアの自由な「利用」とはどのようなことを指すのかという疑問がでてきます。それは、「複製」（ソフトウェアをコピーする）、「配布」（ソフトウェアを他に人に配る、または公開する）、「改変」（ソフトウェアを修正する、または機能を追加する）のようなことです。また、ソフトウェアの「ライセンス」とは、このような利用に関する承諾のことです。
　ソフトウェアをライセンス形態によって分類すると大きく4つに分けることができます。1つ目は、商用ソフトウェア（有償のソフト）、2つ目は、フリーウェア（無償のソフト）、3つ目は、フリーソフトウェア（≒オープンソースのソフト）、シェアウェア（一時的な試用は無料であるが、継続的な使用に対しては対価を要求する）の4つです。
　フリーソフトウェアの利用手順としては、①OSの種別や、メモリーやハードディスク容量、導入に不可欠なツールがあるかなどのパソコン環境を確認する。②インターネットからダウンロードするか、雑誌等の付録（CD-ROM）などから取得するなどして、フリーソフトウェアを入手する。③パソコンに導入する（導入中、導入後に設定が必要となる場合がある）が一連の流れです。
パソコン環境の確認はシステムツールから行えます。アカウントの種別の確認はコントロールパネルから行えます。そのときアカウントの権限を確認します。導入に必要なツール（圧縮解凍ソフト　Lhaplusなど）を確認します。
インターネット上のフリーソフトウェアの入手先は「窓の杜」（windows用が多い）、「ベクター」（windows以外も多数）などがあります。
次に、ダウンロードしたプログラムファイルの実行ですが、ここで注意が必要です。プログラムファイルの拡張子（.exe や　.zip）を確認する必要があります。それぞれの拡張子の意味は（txt:テキストファイル、exe:実行プログラム、html:ホームページのファイル）です。
フリーソフトウェアの導入後は主に4パターンあります。①メニューに登録されるパターン、②デスクトップのアイコンになるパターン、③①、②の両方、④圧縮解凍されたプログラムを実行するパターン　です。ここでの注意点は導入後に「実行パス」や「環境変数」の設定が必要となる場合があることです。
「実行パス」とは、どこからでも導入したプログラムが実行できるようにするパスをつけることで、「環境変数」とは、システムの情報を記録している変数のことです。設定の変更はコントロールパネルから行えます。
ソフトウェアの導入後にパソコンの調子が悪くなったという場合はソフトウェアをアンインストールすることができます。しかし、それだけでは元に戻らない場合があります。それは、レジストリが改変されたままの可能性があります。レジストリとは、windowsのシムテム情報やアプリケ

ーションの情報が格納されているデータベースのことです。
レジストリの書き換えによってwindowsの高速化などのことが行えます。ソフトウェア導入後はユーザが無意識の内に情報が書き換えられています。レジストリの操作はレジストリエディタで行うことができますが、壊れるとシステムが起動しなくなるので注意が必要です。
システムの復元を行うことでパソコンをアプリケーション導入以前の状態に戻すことができます。この操作はコントロールパネルから行うことができます。しかし、ハードディスクに問題があれば、復元は不可能になるので、そのようなときにはバックアップが有用になります。この操作はコントロールパネルから行うことができます。バックアップで作成した「システムのイメージから」システムを回復するとき、ハードディスクから起動出来る場合はコントロールパネルから行うことができますが、ハードディスクから起動できない場合はwindows７セットアップDVDからパソコンを起動し、[コンピュータを修復する]→[システム回復オプション]の操作を行う必要があります。
以上がフリーソフトウェアとその利用方法についてです。

カスタマイズ関連のツール

まずは、カスタマイズ関連のツールの使用方法について紹介していきます。カスタマイズ関連のツールといってもどのようなことができるのでしょうか。実際にソフトを扱いながらみていきましょう。ここで紹介するソフトは「窓の手」、「Virtual Desktop」と呼ばれるソフトです。まずは「窓の手」から見ていきましょう。「窓の手」は自分のwindowsの、本来は難しい操作を行わなければ変更できない設定を簡単に設定できるようにしてくれるツールです。下図がホーム画面です。



項目が「アイコン」「デスクトップ」「タスクバー」「右クリックメニュー」「パフォーマンス」「ログオン」「シャットダウン」とあります。それぞれについて見ていきましょう。

・アイコン：アイコンの表示を変更することができる。たとえばコンピュータのアイコンを変更したい場合は、＜アイコン→コンピュータ→変更したいアイコンデザインをクリックor保存しておいた好きな画像を参照＞でアイコンを変更することができる。

・デスクトップ：デスクトップ上の表示を変更することができる。たとえばデスクトップ上に「ライブラリ」を表示したい場合は＜デスクトップ→デスクトップ上に「ライブラリ」を表示する→設定反映＞でデスクトップ上にライブラリを表示することができる。

・タスクバー：タスクバー（デスクトップに表示されているスタートボタンなどがあるバー）の様々な設定を変更できる。たとえばライブサムネイル（最小化しているウィンドウにマウスカーソルを重ねるとウィンドウが小さく表示される機能）を表示するまでの時間を変更したい場合は＜タスクバー→ライブサムネイルを表示するまでの待機時間→好きな秒数を指定（0~3秒まで）→設定反映＞でライブサムネイルを表示する時間を変更することができる。

・右クリックメニュー：右クリックで表示されるメニューに様々な項目を追加することができる。たとえば右クリックメニューに「フォルダーへコピー」を追加したい場合は＜右クリックメニュー→右クリックメニューに「フォルダーへコピー」を追加→設定反映＞で右クリックメニューにフォルダーへコピーを追加することができる。

・パフォーマンス：PCのパフォーマンスを向上させるために、余分な機能を無効にすることができる。専門用語も散見されるので初心者には難しいかもしれない。PCパフォーマンス向上専用のソフトではないため項目は少な目。

・ログオン：PC起動時の設定を変更することができる。たとえばログオン時にメッセージを表示したい場合、＜ログオン時にメッセージを表示する→タイトル入力→メッセージ入力→設定反映＞でログオン時に好きなメッセージを表示することができる。（使用する場面は思いつかないが・・・）

・シャットダウン：これについては「Windos Updateの自動更新後の自動再起動を無効にする」の項目しかない。この項目にチェックを入れて設定反映をクリックすることで設定可能だ。

以上、大まかにではありますがそれぞれの項目について説明してみました。なお、もし設定を変更した後で「やっぱり元のほうがいい！」という場合でも「標準に戻す」という便利な機能もついているため安心です。以上「窓の手」についての紹介と説明でした。

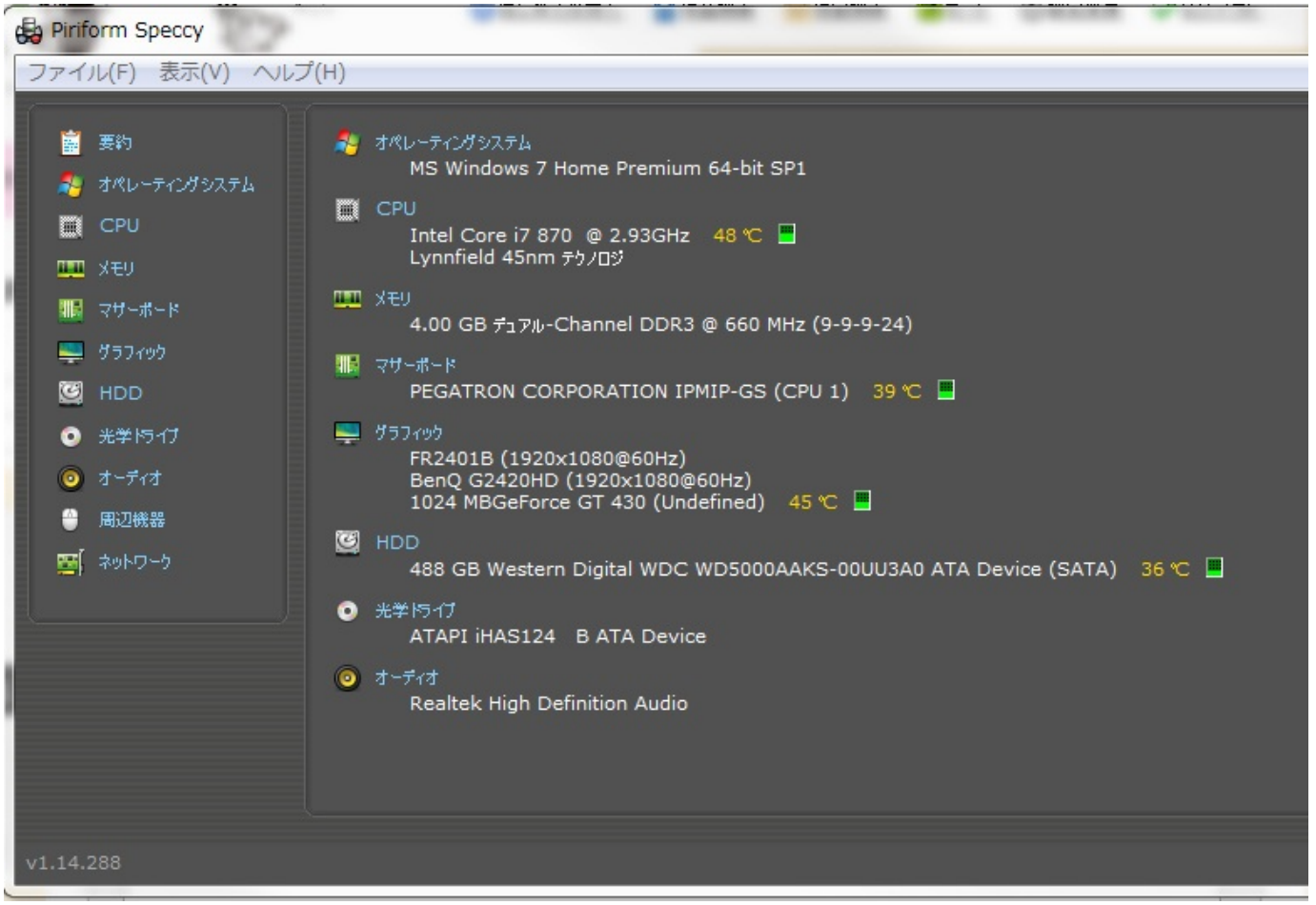
　次に、「Virtual Desktop」というソフトについて説明していきたいと思います。マルチディスプレイという言葉はご存知でしょうか？よくデイトレーダーの方などが使用している、一つのPCにディスプレイが複数ある状態のことをこう呼びます。具体的にどんなメリットがあるかというと、とにかくいろいろ捗ります。PCのディスプレイとは、例えるならば作業机です。机が広ければ広いほど作業効率も上がるでしょう？たとえばレポートを書いたりする場合でも、片方のディスプレイで資料を表示しつつ、もう片方のディスプレイでWordを操作ということもできます。ただ、やはりディスプレイ増設にはお金がかかります。「お金をかけずにマルチディスプレイの快適さを手に入れたい！」という方におすすめなのがこの「Virtual Desktop」なのです。どんなソフトなのか気になりますよね。下図がそのソフトです。

大きな長方形が六等分されている画像が表示されていますね。この一つ一つがデスクトップなのです。つまり、PCのディスプレイが一気に六倍に広がったと考えてください。左上の長方形の中に何やら小さな四角形が集まっていますね。あれがウィンドウです。この四角形をドラッグすることで実際にウィンドウを移動させることもできます。また、たくさん開いたウィンドウを一つの場所に集めたり、六個の仮想デスクトップに振り分けたりすることもできます。いづれも右クリックで表示されるメニューに表示されている項目をクリックすることで簡単にできます。これで作業もサクサク捗ることでしょう。

パフォーマンス関連のツール

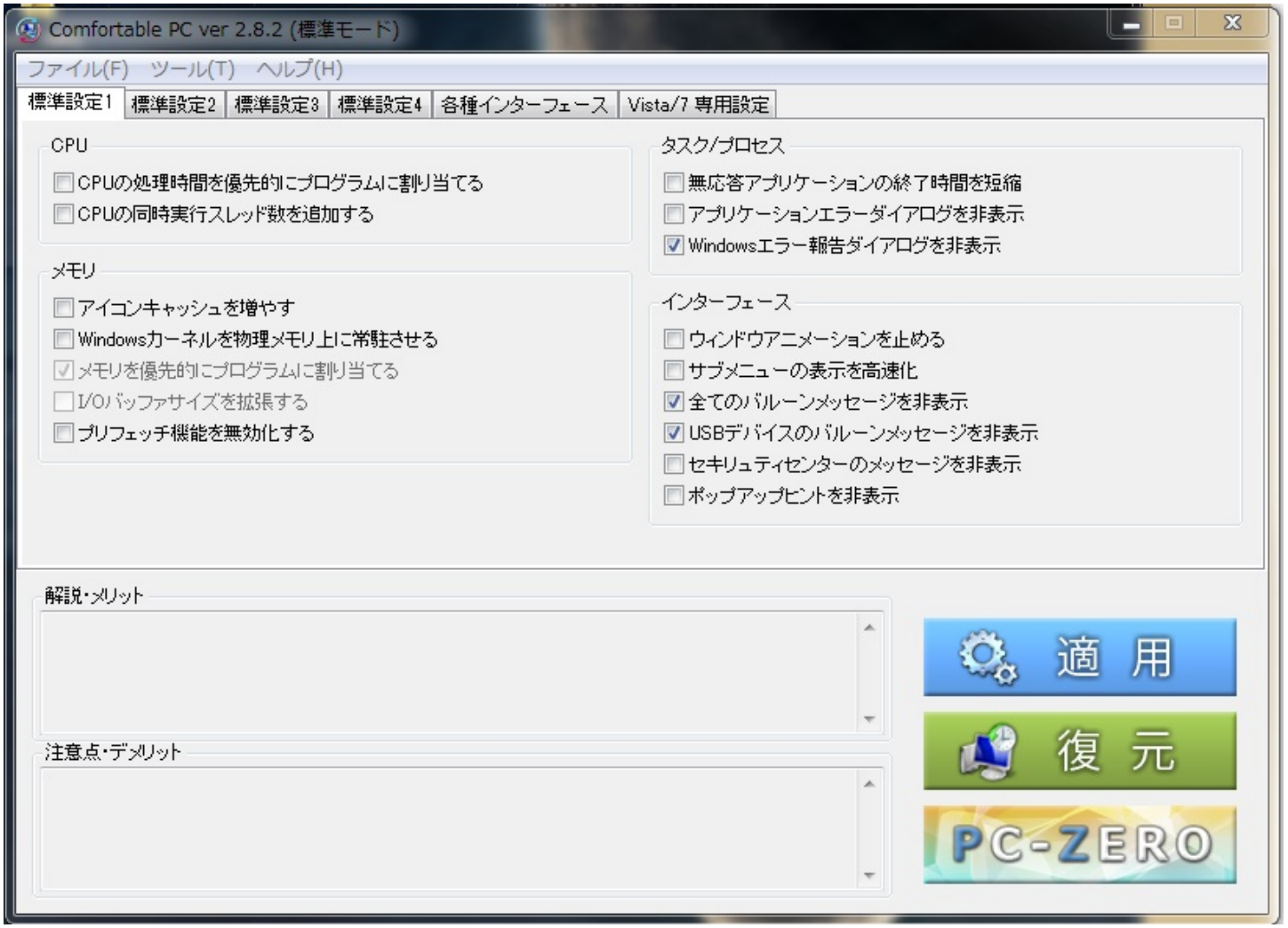
次にパフォーマンス関連のソフトウェアについてみていきましょう。
「PCの動きがのろのろ」、「すぐに固まってしまう」という方も多いのではないでしょうか。そういう時はPCを新しい高性能なものに買い替えるのが一番！・・・なのですが、不景気のご時世なかなかそうもいきません。そこで、今使用しているPCを快適に使えるようにしてくれる夢のようなツールが、しかもフリーソフトで存在するのです。では早速見ていきましょう。

まずは、今の自分のPCがどのような状態なのかを知る必要があります。それを簡単に調べることができるソフトが「Speccy」です。これで、まず自分のPCがどのくらいの性能を持っているのかを把握しておきましょう。このソフトを起動すれば自動的にPCのスペックを調べ、下図のように表示してくれます。



ここで簡単に各項目の説明をしておきましょう。まずオペレーティングシステムというのはPCを動かすために必要不可欠なソフトウェアです。簡単に説明するのは難しいですが、これがあることでほかの多種多様なアプリケーションを同じＰＣで動かすことができるのです。次にCPUですが、これはよく人間の脳に例えられます。基本的にはこれの性能が良いPCほど高性能だといえるでしょう。メモリとハードディスクの説明は同時にするとわかりやすいのでやってしまいます。ハードディスクはたくさんのことを記録しておく大きな本棚だと思ってください。そしてメモリは作業机だと思ってください。そうすると、ハードディスクの数値は本棚の大きさ、メモリの数値は作業机の広さと置き換えることができます。本棚から必要なものを取り出して作業机で作業するということです。次にマザーボードですが、これはCPUやメモリなどをつなげる役割を果たしています。グラフィックは上の図の場合、私のPCのディスプレイが二つあるためディスプレイの情報が二つ表示されています。そして、グラフィック項目の一番下に表示されているのがグラフィックボードと呼ばれる装置の情報です。これは、PCの画面上にグラフィックを表示する際にCPUに高負荷をかけないためにグラフィック描画を補助する役割をしています。PCゲーム等の綺麗で３Ｄのグラフィックを表示させるようなことをしないユーザーにはあまり必要ではない装置です。光学ドライブはCDやDVD、BDなどを読み込むための装置です。オーディオは音を鳴らすための装置です。ここでひとつ言っておきたいのが、CPUの性能が良ければ高性能と書きましたが、これは先にも言った通り基本的にというだけで、いくらCPUの性能が良くともほかのパーツがダメだと思ったほどのパフォーマンスを発揮してくれなかったりします。あんまりここを説明しても混乱すると思うので少しだけたとえ話をさせていただくと、とっても頭脳明晰な人（高性能なCPU）がいたとします。しかし実際に作業を行う作業机（メモリ）がすごく狭い。すると、いくら頭がよくってもなかなか作業がはかどりませんよね？こんな感じで、一概にCPUの性能だけではPCの性能は測れないのです。以上、わかりにくい説明でしたがなんとなく理解していただけたでしょうか？

それではいよいよPCを快適に動作させるためのソフトウェアを使ってみましょう。今回使用するソフトウェアは「Comfortable pc」というソフトです。使い方はいたって簡単で、行いたい項目を選んでチェックを入れ、適用ボタンをクリックするだけです。一部、再起動を行わないと適用されない項目があるので、適用ボタンを押したら再起動してみましょう。下図が「Comfortable pc」です。

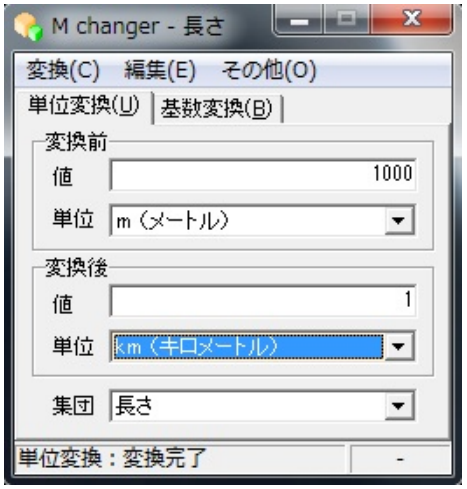


ぱっとみたかんじ、専門的な言葉が並んでわかりにくいなぁと思う方もいるでしょう。しかし、このソフトウェアのすごいところは、それぞれの項目についてそれを適用することでどんなメリットとデメリットがあるかが説明されていることです。項目の部分にマウスカーソルを重ねると表示されます。万が一、設定を適用した後で何かしらの不具合が生じた場合でも、自動的に設定を適用する前の状態が保存されているため、復元ボタンを押すことで設定変更を行う前の状態にPCを戻すことも可能です。

ただ、これを使っても効果の程度は、そのPCによって様々です。なので、あくまで次のPCを買うまでの応急処置といったところでしょうか。ただ、無料でできることなのでやってみる価値は十分にあると思います。

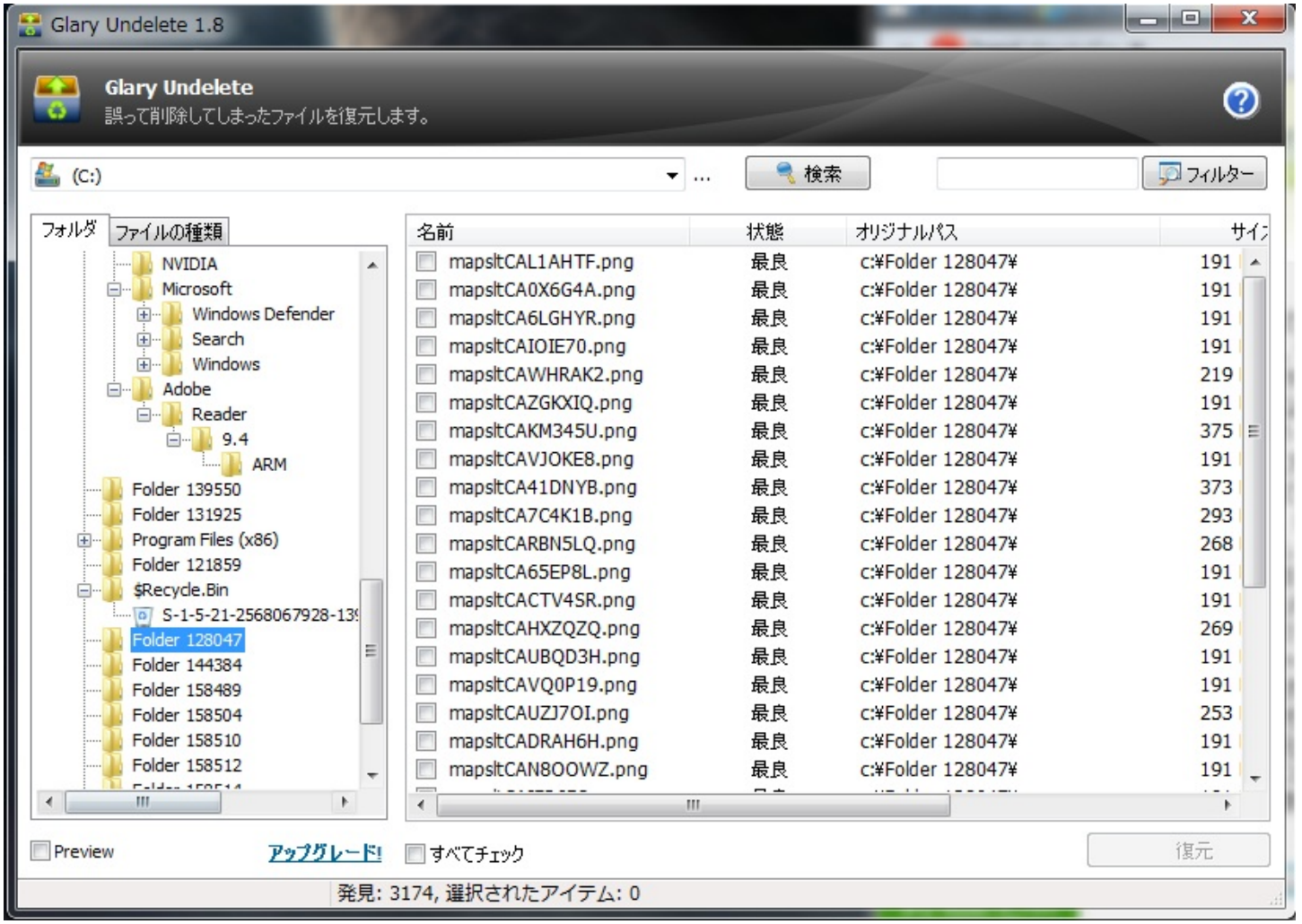
単位変換ツール・レスキュー関連のツール

突然ですが、貴方は「エーカーって何それおいしいの？」や、「東京タワー高過ぎｗｗ俺何人分だよｗｗ」といった疑問を抱いたことはありませんか？そんな素朴な疑問に答えてくれる素晴らしいツールがこれ、単位変換ソフト「M changer」です。

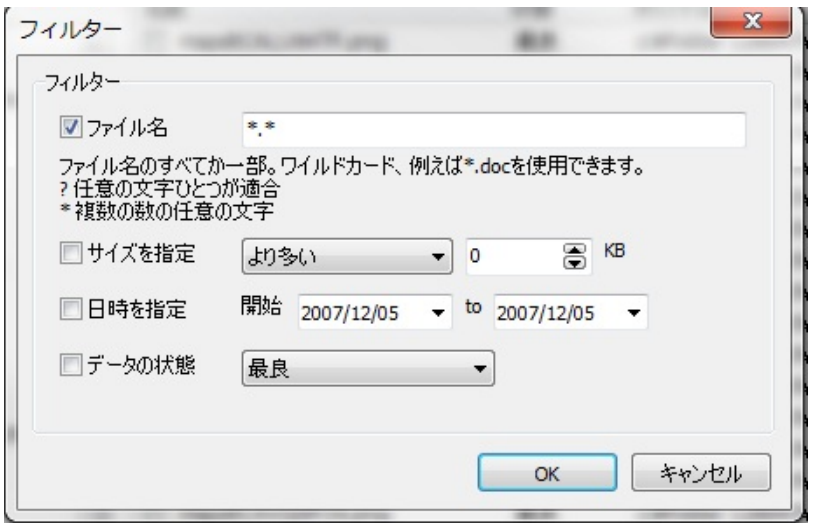


まず、長さや速さなどを「集団」という項目から選択します。そして、変換したい数値を変換前の値の欄に入力し、単位を選択して、知りたい変換後の単位を選択しエンターキーを押すだけ。このソフトの面白いところは、単位においても集団においても、実に多くの項目が用意されていることです。長さでいえば、メートルやキロメートルといった聞きなれたものから、パーチやハロンといった聞いたこともない単位まで、さらにはエッフェル塔や東京タワー、東海道新幹線など実在する建造物の長さまで単位として用意されています。使い方もいたって簡単なので試しに使ってみてはいかがでしょうか？

次に、レスキュー関連のソフトについて説明していきたいと思います。「間違ってファイル消しちゃった・・・」なんてこと想像したくもありませんよね。だけど、注意していても犯してしまいがちなミスの一つでもあります。でも、あきらめるのはまだ早い。この「Glary Undelete」というソフトを使えば、一度消去してしまったファイルをもう一度復活させることができるかもしれません。



まず、消去してしまったファイルがあったドライブに検索をかけます。SDカードやUSBフラッシュメモリなどにも対応しています。もし、ファイルがあったフォルダやファイルのサイズ、消去した日時などを覚えている場合はフィルターという項目から指定することで、検索する時間を短くすることもできます。



検索が終わるとファイルが表示されるので、そこから復活させたいファイルにチェックを入れて復元ボタンを押せば復元が開始されます。そのファイルの状態を見て最良と表示されていれば成功確率も高く、逆に最低と表示されていれば復元できる望みは薄いでしょう。何にせよ、あきらめていたファイルを復活させることができるかもしれないツールです。やってみて損はないのではないでしょうか。

セキュリティ関連のツール・その他

まずセキュリティ関連のソフトウェアから説明していきましょう。

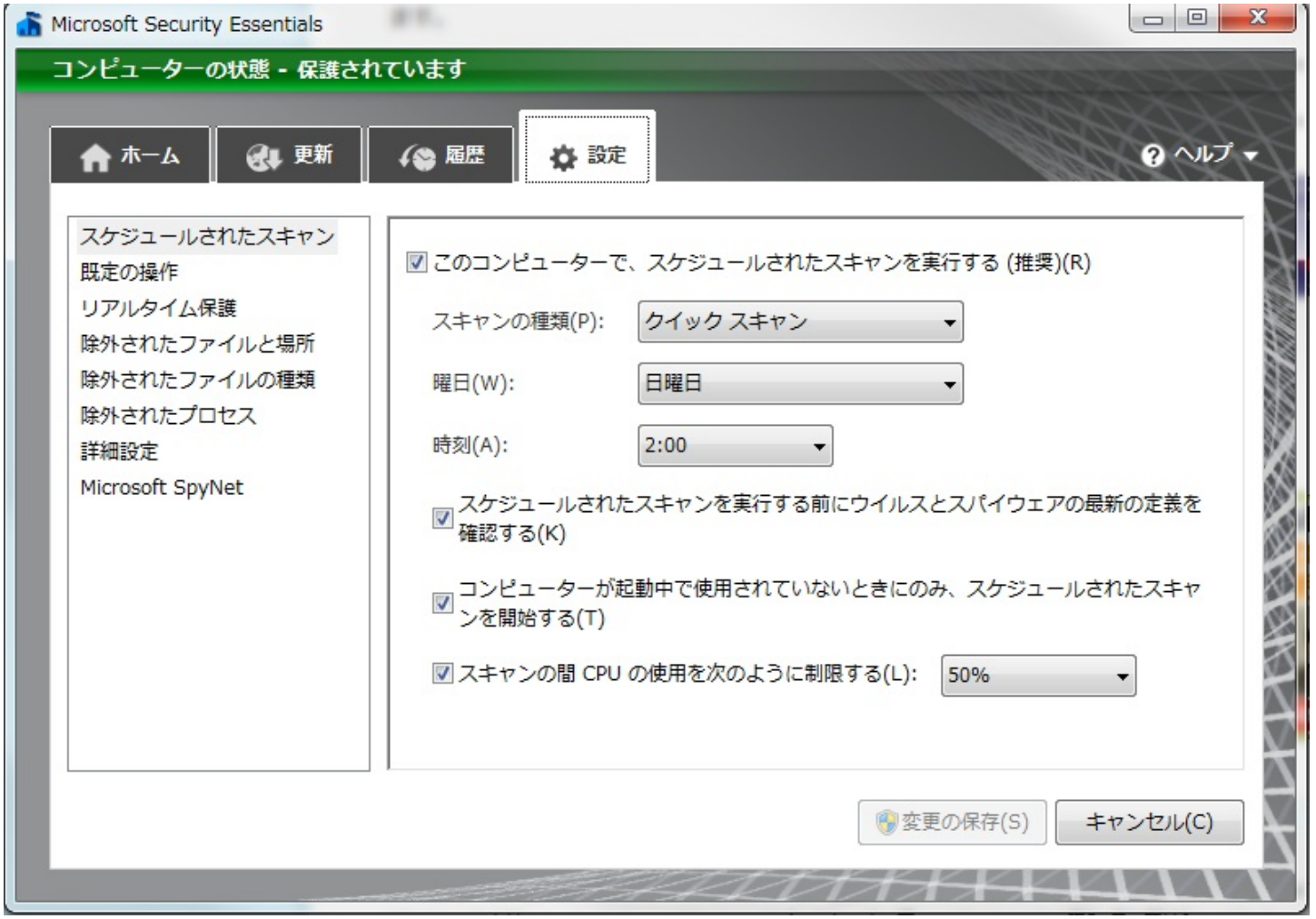
インターネットが便利な時代になりましたね。ネットにつなぎさえすれば、調べ物はもちろんラジオを聴いたり、チャットをしたり、無料で電話をかけられたり、買い物できたりと、言い出せばきりがないくらい様々なことができます。そんな便利なインターネットを利用していて怖いのがコンピュータウィルスやスパイウェア等の存在です。コンピュータウィルスとは、勝手に他人のPCに侵入して様々な悪さをするプログラムのことです。知らず知らずのうちに侵入していることが多く、主にインターネットを介して感染することが多いようですが、他人に借りたUSBフラッシュメモリなどから感染することもあるようです。また、スパイウェアとは、他人のコンピュータに勝手に侵入するところまではコンピュータウィルスと同じなのですが、侵入後、そのPC内の情報を勝手に第三者に送信してしまうのです。メールアドレスや電話番号、住所などの個人情報が狙われることが多く、他人のPCに入り込みスパイ活動のようなことを行うのでこの名前がついています。

これらの厄介な存在から私たちのPCを守ってくれるのが、ウィルス対策ソフトと呼ばれるソフトウェアです。今回紹介するソフトウェアは、Microsoftから無料で提供されているウィルス対策ソフト「Microsoft Security Essentials」です。

このソフトはウィルスやスパイウェアなどからPCを守ってくれるとても頼もしいソフトです。まず、スキャンの説明からしていきましょう。スキャンとは、PC内のウイルスやスパイウェアなどを探し出す機能です。クイックスキャンはそういった有害なソフトウェアの脅威にさらされやすい部分のみにスキャンをかけます。探す範囲が狭い分すぐにスキャンが終わります。フルスキャンはその名の通り、ＰＣ内すべてにスキャンをかけて徹底的に探し出します。その分時間はかかります。カスタムスキャンでスキャンをかける範囲を指定することもできますが、知識がなければどういったところにスキャンをかければ良いのかわからないので、初心者の方にはあまりお勧めできません。次に更新という項目について説明していきましょう。下の図を見てください。

図の「ご存知ですか？」という説明の部分にもあるように、どんなソフトがウィルスでどんなソフトがスパイウェアか、このソフトはダメ、このソフトは大丈夫、といった具合に定義づけをしなければウィルスやスパイウェアを見つけ出すことはできません。また、ウィルスやスパイウェアというものは日々新しいものが出てきています。そういったものに対応するためにこの定義も新しいものにしていく必要があるのです。そのために、新たな定義をMICROSOFTが決めていき、更新を行うことで対応しています。この更新は自動的に更新されていきますが、更新ボタンをクリックすることでも更新を行うことができます。

この履歴という項目は、今までにこのソフトが検出したウィルスやソフトウェアを表示することができます。このソフトウェアの働きを見ることができる項目でもあります。たくさん検出していた時は、褒めてあげてください。最後に設定という項目を見ていきましょう。

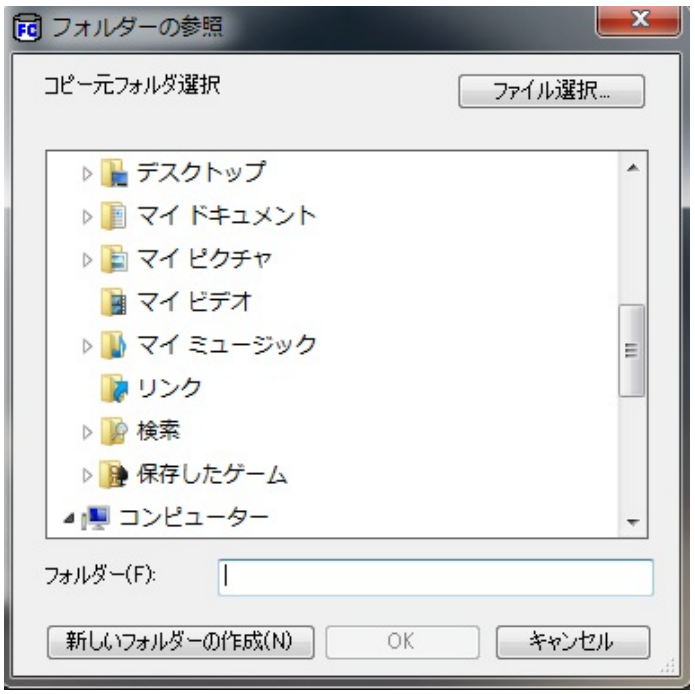


ここではこのソフトに関する様々な設定を行うことができます。オートで定期的にスキャンする際のスキャンの種類の変更や曜日、時間の指定など自分の都合に合わせて変更します。

以上で、「Microsoft Security Essentials」の説明を終わりたいと思います。インターネットをするなら必須のウイルス対策ソフト。今回取り上げたのは一つのみでしたが、まだまだ多くのセキュリティ対策ソフトがあるので吟味して納得のいくソフトを選ぶようにしましょう。

次に、講義のその他で紹介された「Fast Copy」というソフトウェアについて説明していきたいと思います。たとえば、地上デジタル放送の録画などの容量の大きいファイルなどをコピーするとき、時間がかかるなぁと思ったそこのあなた。そんなあなたにぴったりのソフトがこれです。その名の通りコピーを高速で行うことができます。下の図がそのソフトです。

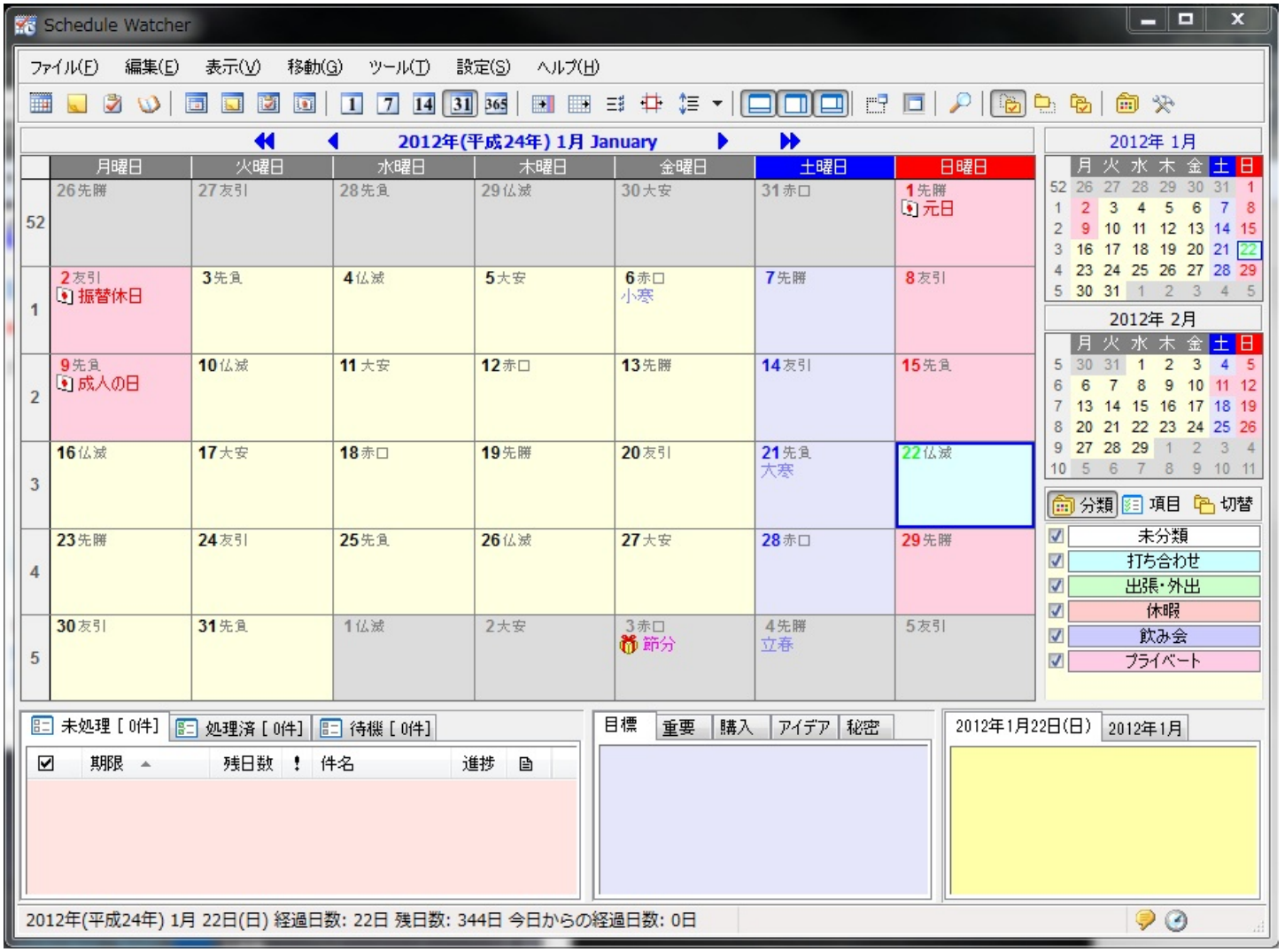
使い方は「source」をクリックしてコピーしたいフォルダ、またはファイルを指定します。



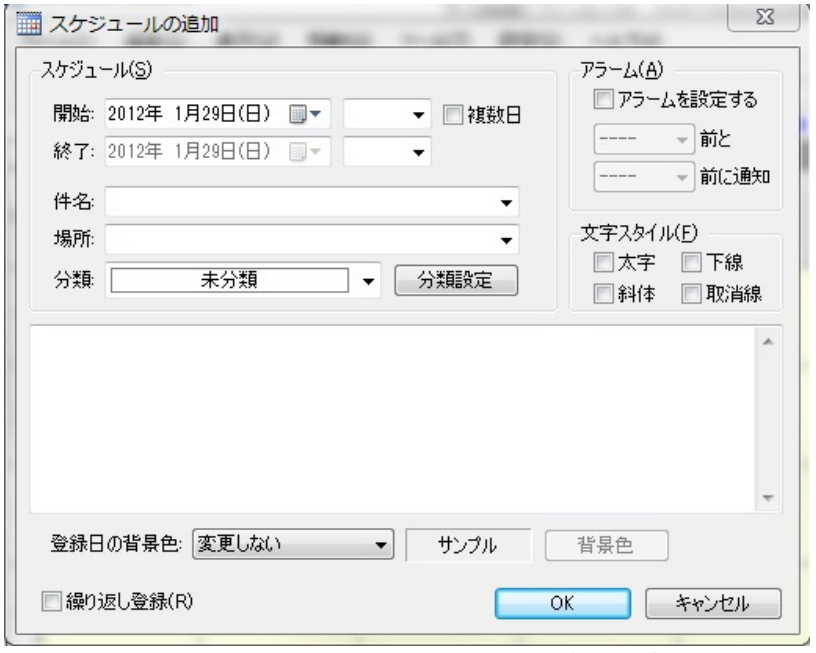
ここで注意したいのが最初に「source」をクリックした段階ではフォルダの指定しかできないことです。このウィンドウの右上にあるファイル選択をクリックすることでファイルのみを指定することができます。そこまで終わったら「DestDir」をクリックしてコピー先を選択し、後は実行を押すだけでコピーが開始されます。私も実際に使ってみましたがやっぱり早いですね。某日曜劇場の録画をコピーしてみました。サイズが5.67GBと大きいため普通にコピーをすると6～7分かかりましたが、このソフトを使ってコピーしてみると、なんと３分弱でコピーができました。2倍以上の速さですね。テレビの録画やビデオ撮影などで、高画質で高サイズのファイルを扱うことも日常生活の中では珍しいことではないでしょう。そんな時、このソフトでより快適にそうしたメディアを楽しむことができることでしょう。

スケジュール管理ソフト

皆さんはスケジュールをどういった形で管理しているでしょうか。スケジュール帳や携帯のスケジュール機能など人によってさまざまでしょう。今回はPCでのスケジュール管理をより快適にしてくれる「Schedule Watcher」というソフトの説明をしていきます。まず、どんなソフトなのか見てみましょう。下の図を見てください。

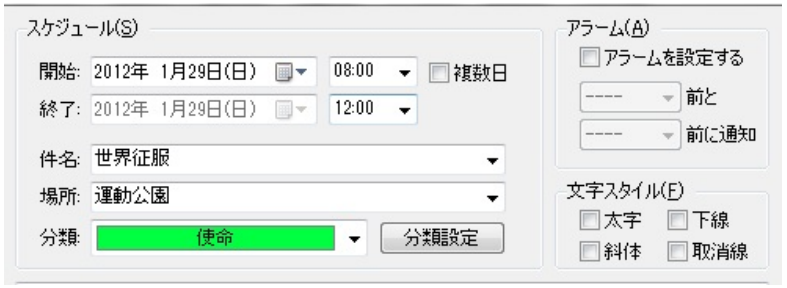


これが「Schedule Watcher」です。PCソフトである以上、紙のスケジュール帳にはない様々な機能が搭載されています。まずは、スケジュール帳なのでスケジュールを書き込んでみましょう。上の図のカレンダーの予定を入れたい日をダブルクリックすると下の図のウィンドウが開きます。



後はこのフォームに従って情報を入力してOKをクリックすればカレンダーに予定が追加されます。

下の図のような感じで入力できます。分類はデフォルトで打ち合わせ、出張・外出、休暇、飲み会、プライベートがありますが、下の図のように後から分類を追加することもできます。



予定を入力し終わったのでOKをクリックして予定を書き込みます。

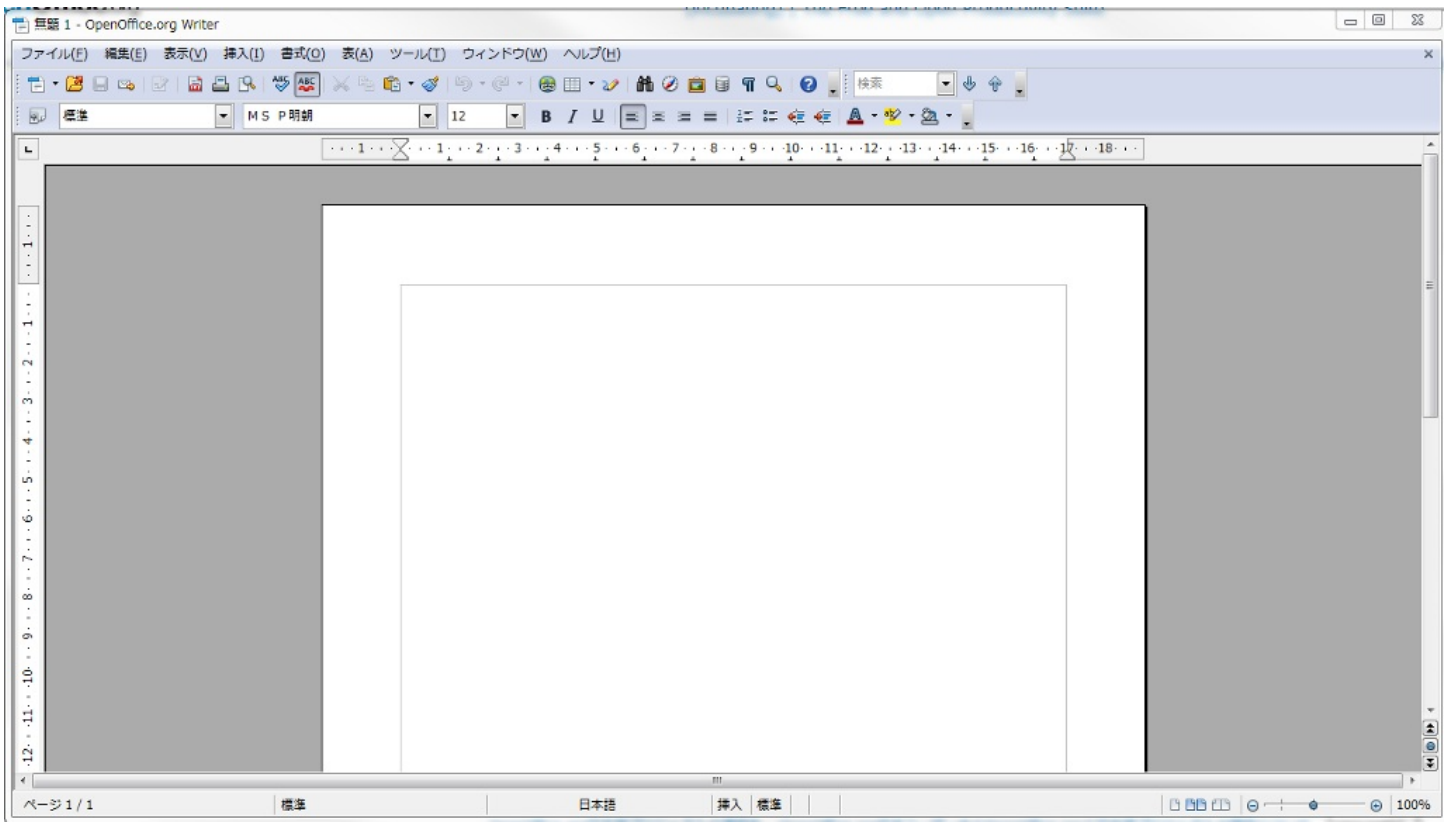
これで予定の書き込みができました。ちゃんと分類の色も反映されていて見やすいスケジュール帳ができそうです。

このソフトはほかにもさまざまな機能がついていて、たとえばスケジュールのみを一覧にして表示したり、カレンダーの表示を１日分、１週間分、２週間分、１か月分、１年分と変更できたり、スケジュールの検索ができたりととにかく昨日豊富で、紙のスケジュール帳では考えられないほど便利です。また、ツールを使うことでGoogleカレンダーとの同期も可能です。とにかく昨日豊富なスケジュール管理ソフト「Schedule Watcher」。携帯できる小さなん端末でスケジュール管理する方が多いかと思いますが、仕事でPCを常に使う方や、ノートパソコンを持ち歩く方にはぜひお勧めのソフトです。

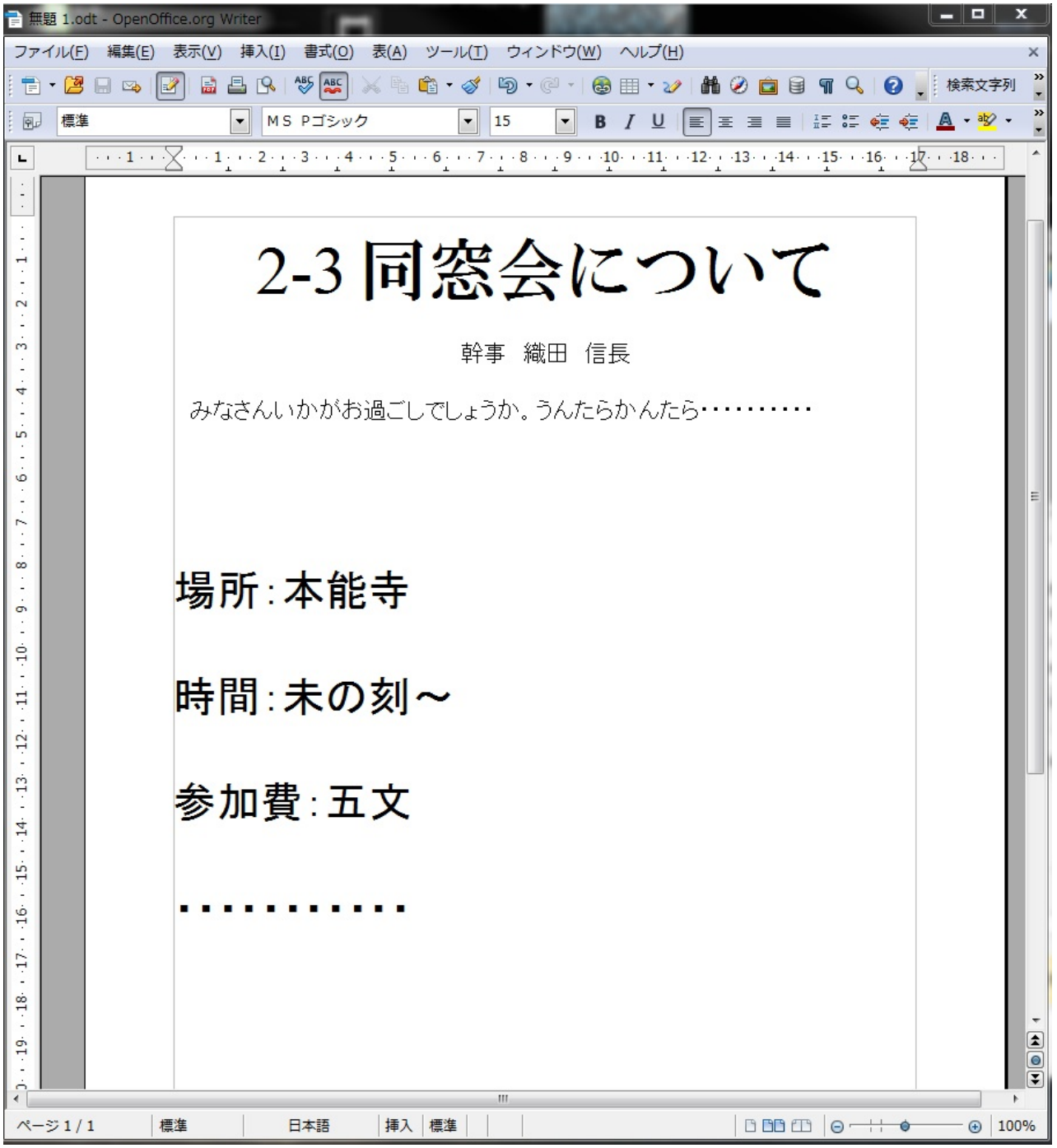
オフィスソフト

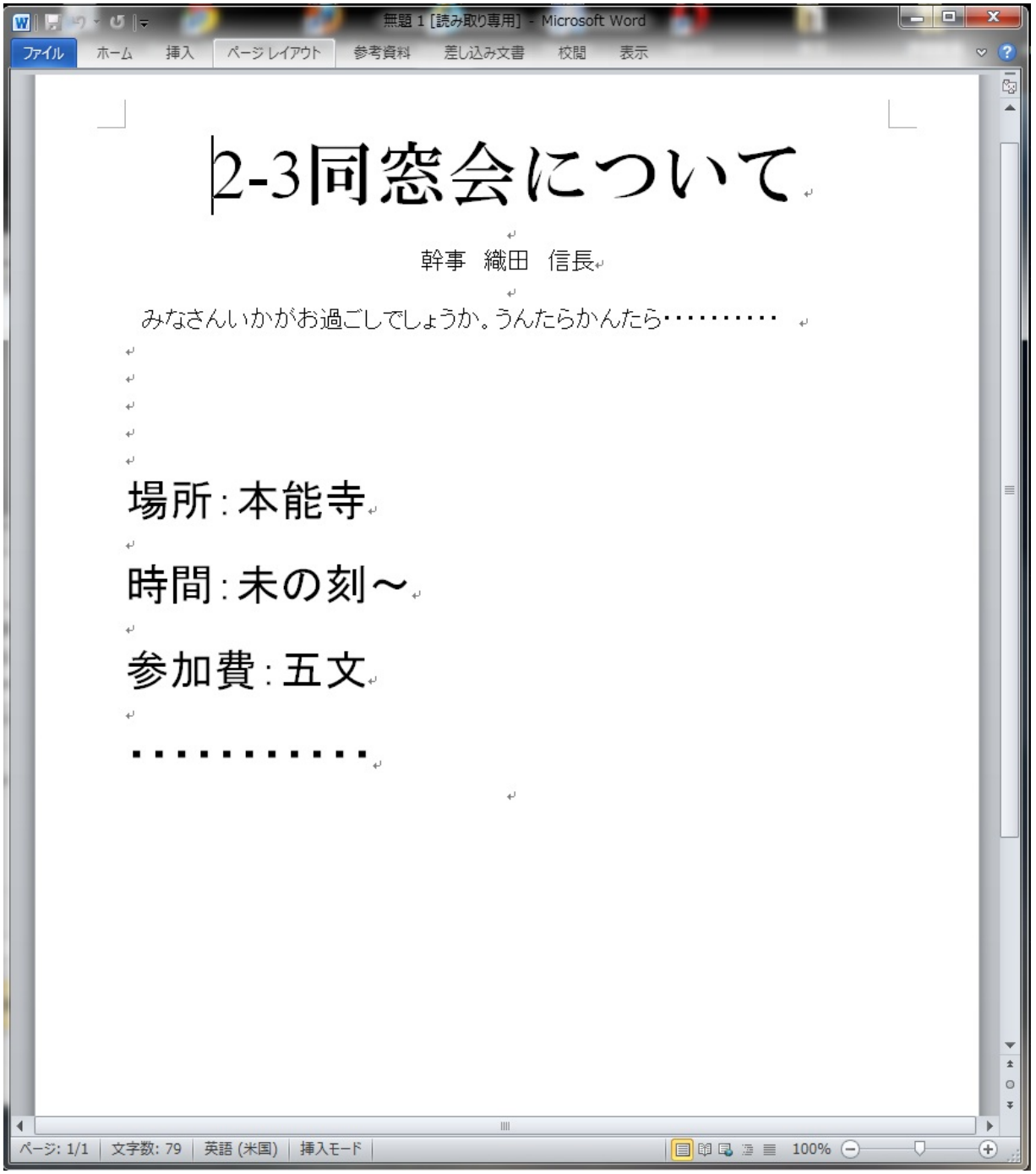
　オフィスソフトというと「microsoft office」を思うかべる方が多いのではないでしょうか。今回紹介するソフトはその「microsoft office」とも互換性を持った「OpenOffice」と呼ばれるソフトです。まず、最初に言っておきたいのは、このソフトはフリーソフトです。にもかかわらず、表計算・文書作成・プレゼンテーション・図形描画・データベース・数式と、多くのことができます。さらに使いやすさも上々で、オフィスソフトでやりたいことは大体これでできてしまうのではないかと思います。実際にどのようなソフトなのかを見ていきましょう。下の図がホーム画面です。

今回は文書作成ソフトを使ってみましょう。



見た感じ「Microsoft word 2003」に似たような印象を受けます。字体の変更や字の大きさの変更、時の色の変更などのアイコンなども同じような感じで、少し使ってみた感じではとても使いやすいです。実際に少し文章を書いてみて私が愛用している「Microsoft word 2010」との互換性を確かめてみたいと思います。下に両方の図を出してみました。上が「OpenOffice」で作成した文書。下がそれを「Microsoft word 2010」で開いてみた時の文書です。


無題 1.odt - OpenOffice.org Writer
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 挿入(I) 書式(O) 表(A) ツール(T) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)
検索文字列
標準
MS Pゴシック
15
2-3 同窓会について
幹事 織田 信長
みなさんいかがお過ごしでしょうか。うんたらかんたら・・・・・・・・・
場所：本能寺
時間：未の刻～
参加費：五文
・・・・・・・・・・・
ページ 1 / 1
標準
日本語
挿入
標準
100%

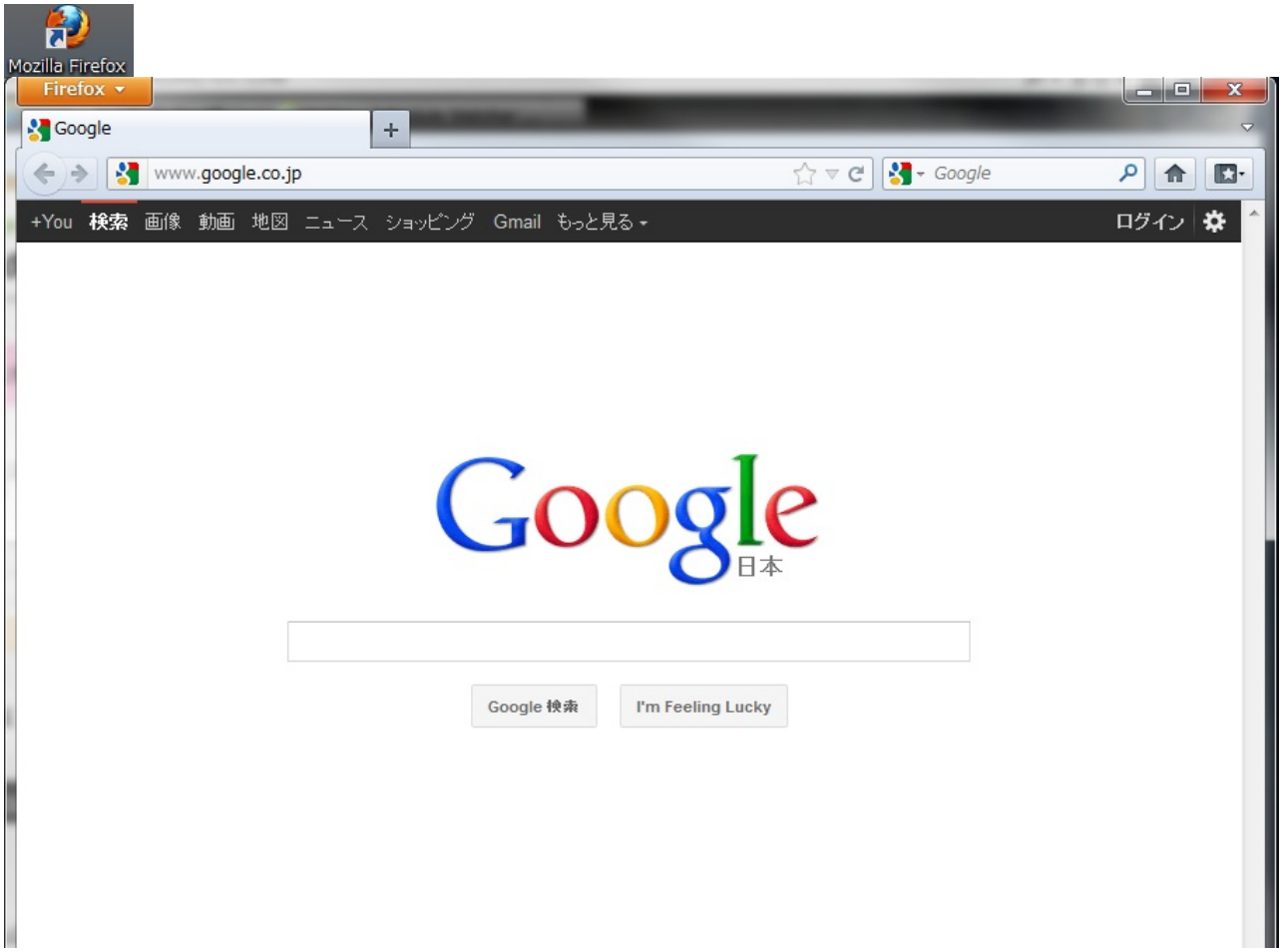


見ていただければわかるように、文字化けなどを起こすこともなくちゃんと互換表示もできます。
また文書作成だけでなくプレゼン作成や表計算などの機能も秀逸です。多くのPCにオフィスソフトを導入しなければならない企業などの団体では重宝されるのではないでしょうか。もちろん個人もですが。

WEBブラウザ

　これは、多くの人になじみ深いソフトウェアなのではないでしょうか。WEBブラウザとは、言ってしまえばインターネットをするためのソフトウェアです。そして、一口にWEBブラウザといっても様々なブラウザが存在します。今回は、講義でも取り上げられた３つのブラウザを紹介していきたいと思います。

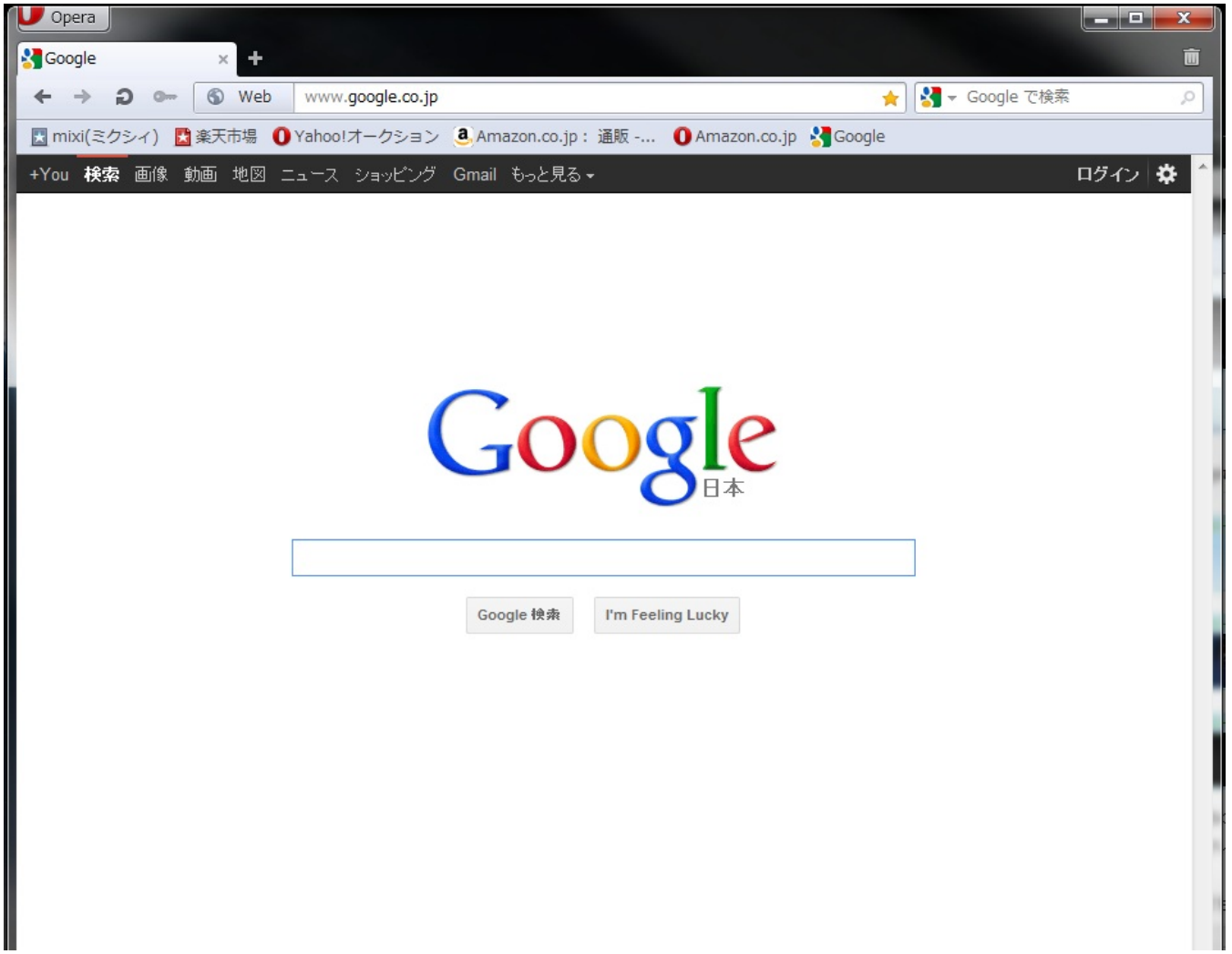
　まず一つ目は「Firefox」です。



　このブラウザの特徴は何と言ってもそのカスタマイズ性の高さ。ブラウザのインターフェースのデザインを好きなように変更することもできます。実際にやってみましょう。<Firefoxと書かれた左上のオレンジのボタンをクリック→アドオン→アドオン入手→Featured Personasのsee all>で下の図のようなページが表示されます。後は自分が好きなデザインを選択してクリックし、add to firefoxをクリックすると自動的に適用されます。

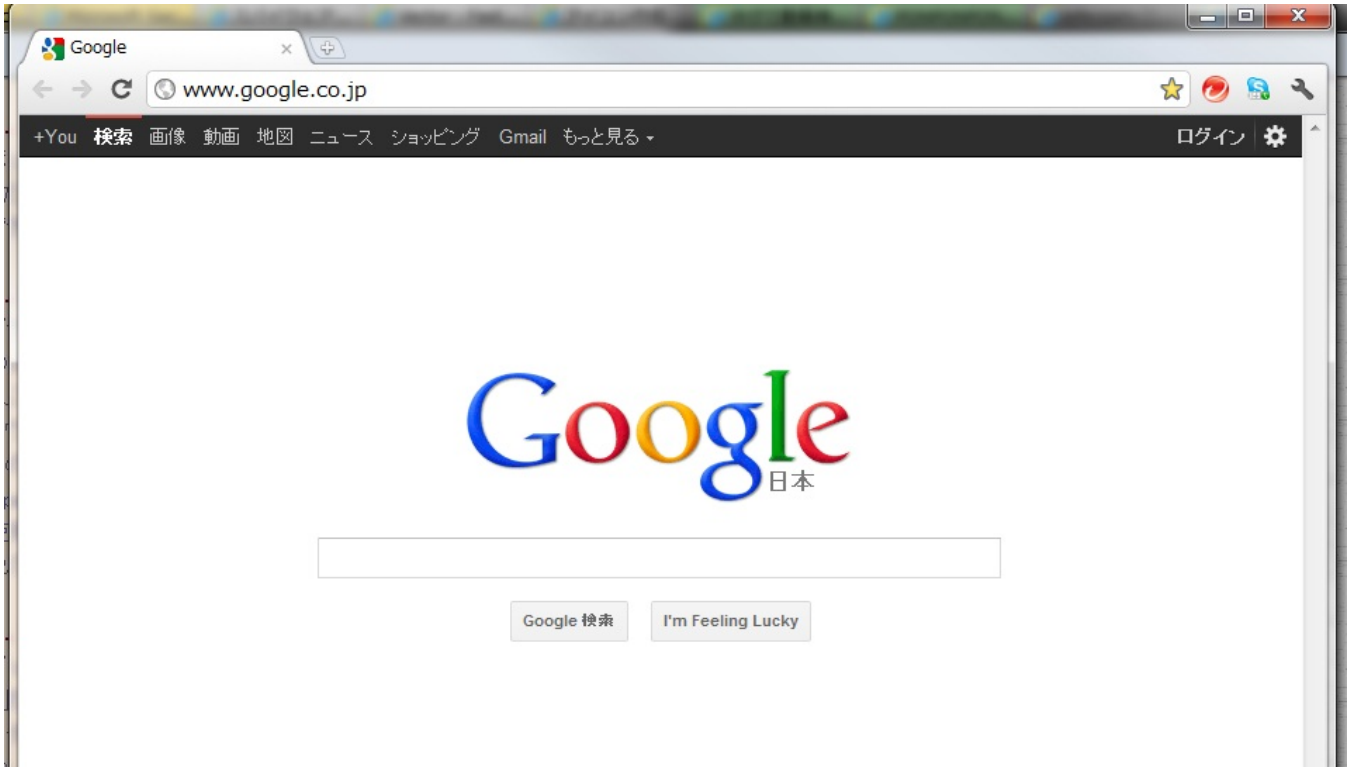
追加したテーマはアドオンマネージャーのテーマに保存されていて、いつでも変更可能です。テーマも実に多くの種類があって、テーマを見て回るだけでも時間が過ぎてしまうようなものばかりです。「ブラウザにもアイデンティティを！！」という人にぜひお勧めのブラウザでした。

次に紹介するブラウザは、「Opera」と呼ばれるブラウザです。あまり聞いたことのないブラウザかもしれません。



operaの特徴はまず、カスタマイズ性の高さ。シンプルなインターフェースにしようと思えば極限までシンプルにできるし、逆に様々な機能をすぐに使えるようにしておきたいという方はバーをどんどん追加できます。そして、使ってみて思ったことは、「戻る」、「進む」の速さ。これはやってみる価値ありです。早いです。そして、拡大・縮小機能もopera独特な機能ではないかと思います。ページの拡大や縮小表示が右下にあるバーを調節することで無段階で自由に行うことができます。ポップアップ広告の無効化機能等もついており、なかなか秀逸なブラウザではなかろうかと思う次第です。

最後に紹介するブラウザは、最近何かと話題の「google chrome」です。

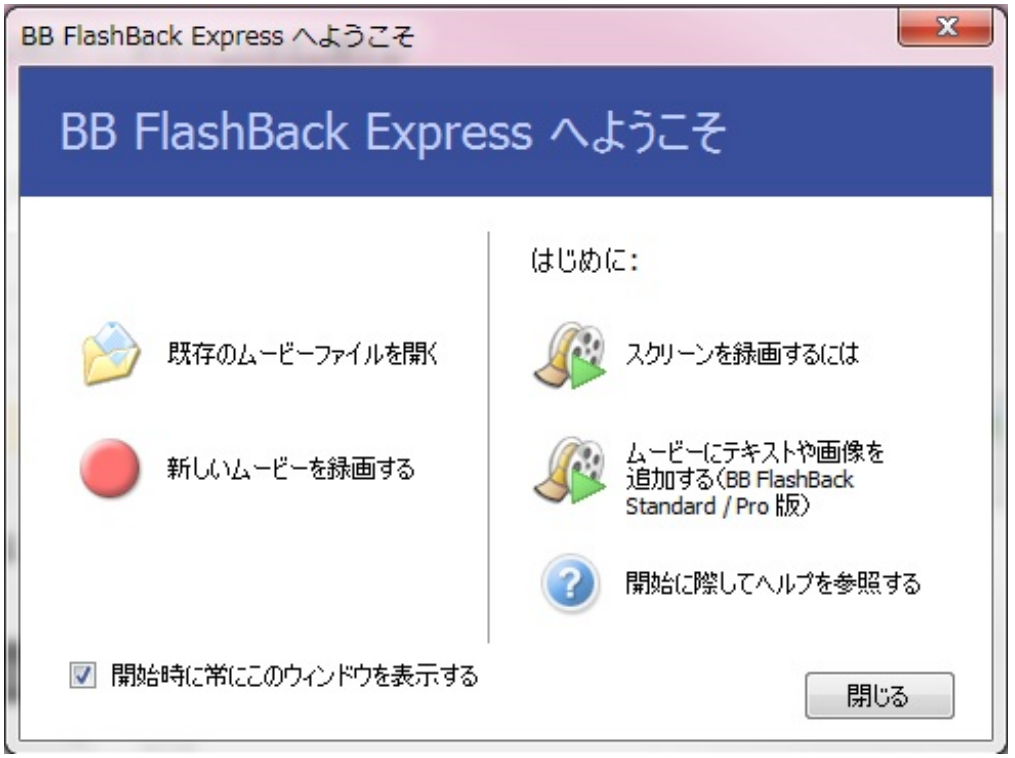


「google chrome」の特徴といえば、やはりその「軽さ」です。これにつきます。低スペックなPCでもサクサクと動いてくれます。シンプルなインターフェースは使いやすく、ほかのブラウザから乗り換えてもすぐに慣れることができるくらい親しみやすいです。また、このブラウザでちょっとした機能ですが便利なのが、記憶させたIDやパスワードを入力する画面に行くと、自動的にIDとパスワードを入力してくれることです。この機能があればわざわざ入力する手間が省け、より快適なネットサーフィンを行うことができます。

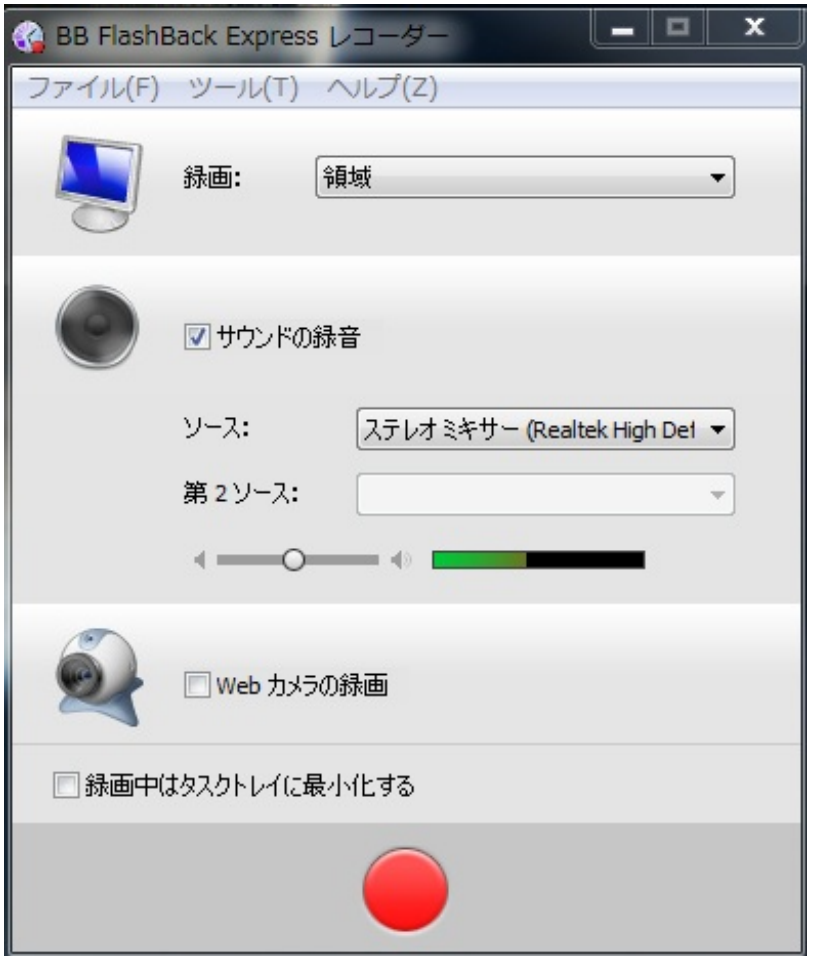
以上、３つのブラウザを紹介してみました。いろいろ書きましたが、最終的には自分が使いやすいかどうか、これにつきます。なんとなく「Internet Explorer」を使っていた方、もちろんこれもとても素晴らしいブラウザですが、もし「ほかのブラウザを使ったことがない」なんて方は一度いろいろ試しに使ってみてはいかがでしょうか。素敵な出会いが待っているかもしれませんよ。

動画キャプチャーソフト・ファイル変換ソフト

PCの画面を録画できるソフト、それが動画キャプチャーソフトです。面倒なことは一切なし。ただ、画面に映っているものをそのまま録画するだけなのです。なんて単純明快で、それでいてなんて便利なソフトなんでしょう。さあ、実際に使ってみましょう。今回使用するソフトは「BB FlashBack」というものです。製品版の３０日試用版２つとフリーソフト1つがあります。今回はフリーソフトをダウンロードして使ってみましょう。



上図がそのソフトです。では、さっそく録画してみましょう。「新しいムービーを録画する」をクリックします。

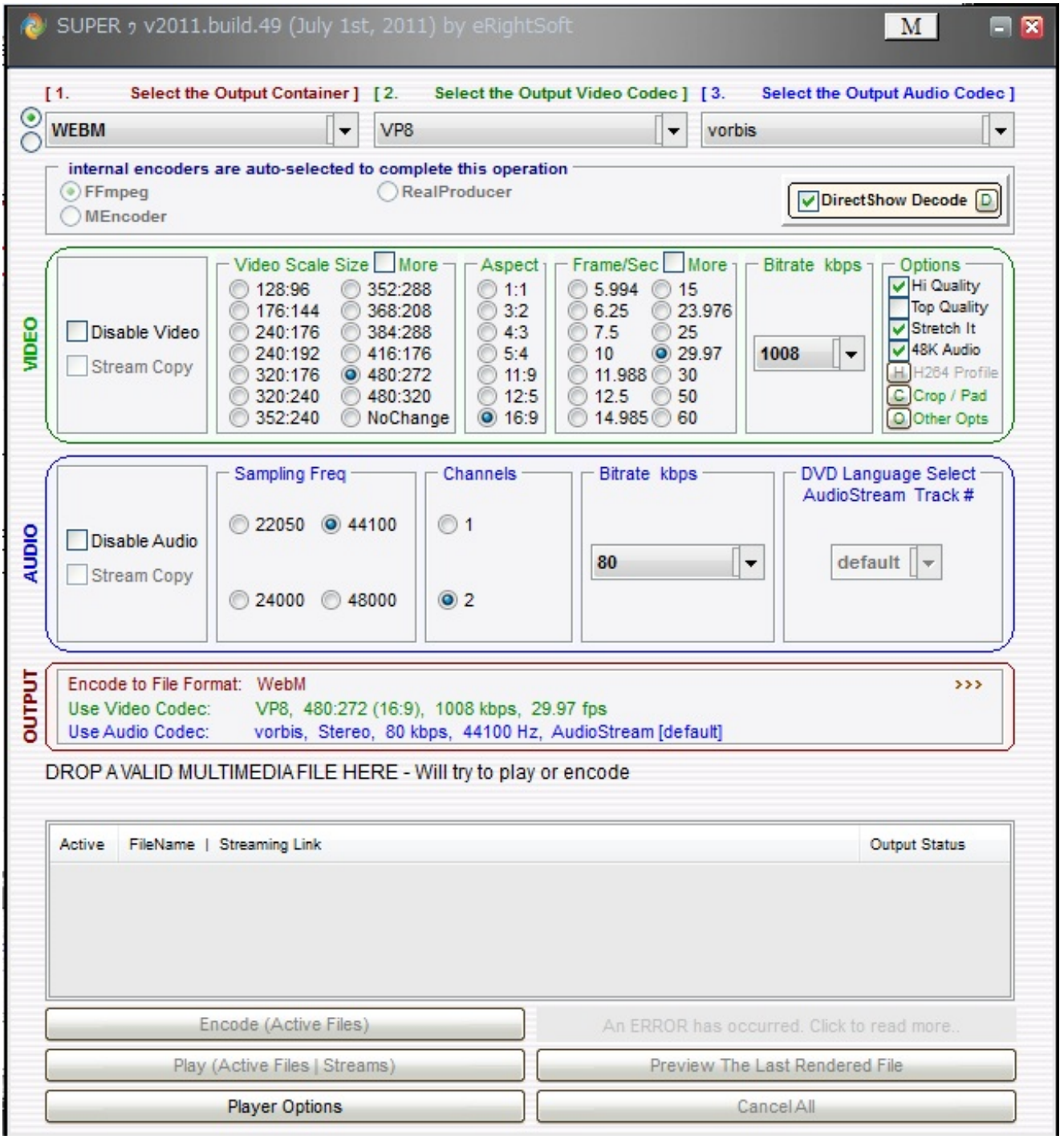


このウィンドウで録画の設定を行います。まず、PCの画面のどこを録画するかを、録画という項目から選択します。こ

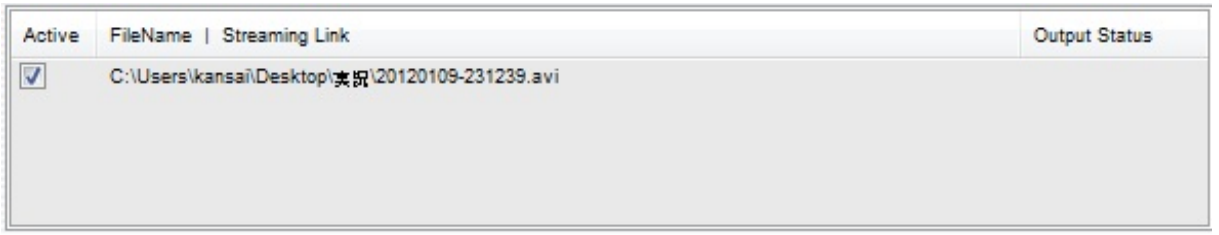
こにはフルスクリーン・領域・ウィンドウの中から録画したい場所を選択します。今回は領域にしておきます。これは録画する範囲を任意の大きさに設定できる項目です。次に音はどこから出てくる音を録音するかを選択します。まず、サウンドの録音にチェックを入れ、スピーカーやマイクなどから録音したいものを選びます。設定が終わったら、下の赤いボタンを押すと録画が始まります。今回設定した領域だと、その領域が赤い枠で表示されています。その中に入ったものはすべて録画されているというわけです。録画中はこのようなウィンドウが表示されます。

録画を一時停止したい場合は左のボタンを、停止したい場合は右のボタンをクリックします。
これでPCデスクトップのキャプチャができました。

　次に紹介するのは、ファイル変換ソフトです。これはちょっとさっきみたいな単純明快なものではないですね・・・そもそも、なぜファイルの変換が必要なのでしょうか。それは使用する機器によって対応しているファイルの種類が違うからです。たとえばMP3プレイヤーでWMA形式の音楽ファイルは再生できません。MP3プレイヤーにはちゃんとMP3形式の音楽ファイルを入れなければならないのです。ここでは、MP3やWMAといった単語の詳しい説明まではしませんが、簡単に説明すると、「たくさんの曲をプレイヤーに入れたいがファイルが大きすぎる。」「だったら布団みたいに圧縮しちゃえ！」ってことで圧縮した結果できたのがMP3ファイルやWMAファイルです。MP3とかWMAとかは圧縮の方法みたいなものです。で、ファイル変換ソフトの話に戻すと、「今持ってる音楽ファイルはWMA形式しかないんだけど・・・」なんて方のためにあるのがファイル変換ソフトなのです。つまり、ファイルの圧縮形式を変換してくれるソフトなんですね。
ここで使ってみるソフトは「superC」というソフトです。



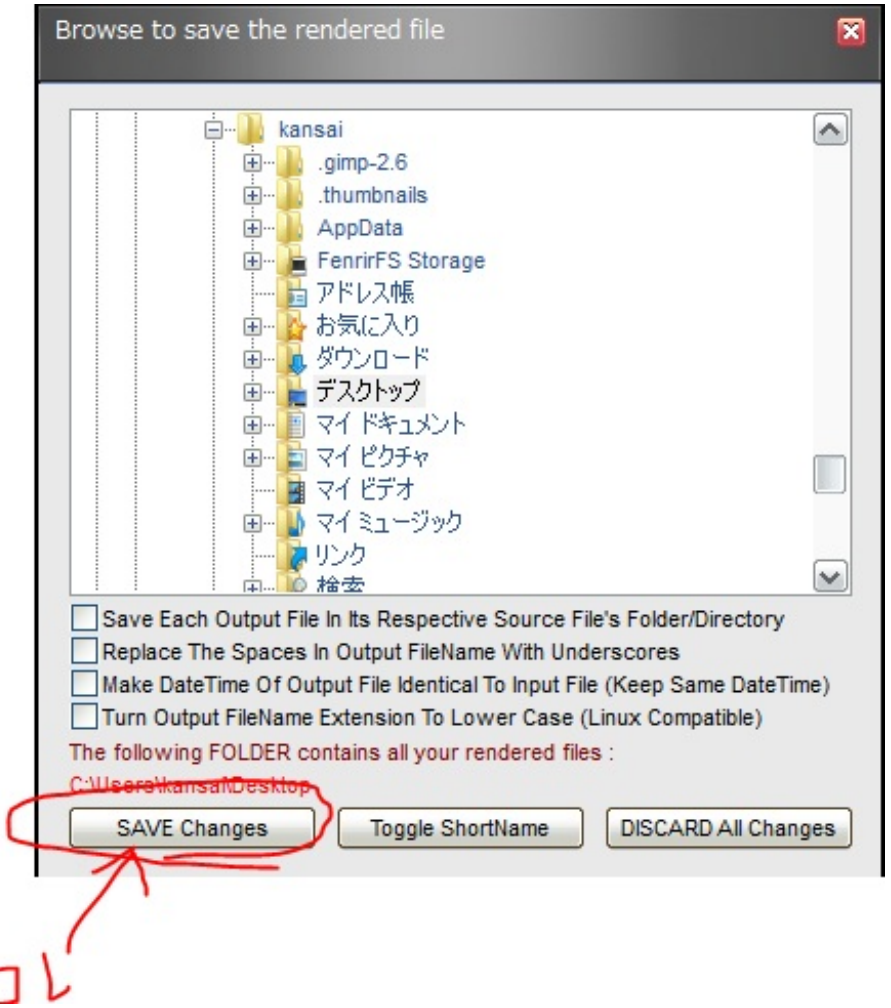
ごちゃごちゃしてて、さらに英語なので拒否反応を覚える方もいらっしゃるかもしれませんが基本的に使うところはほんの少しです。これから説明していきます。まず変換したい動画や音楽ファイルなどを下の四角いボックスの中にドラッグ＆ドロップします。



すると上の図のように表示されますので確認してください。次に左上の赤い1に注目です。

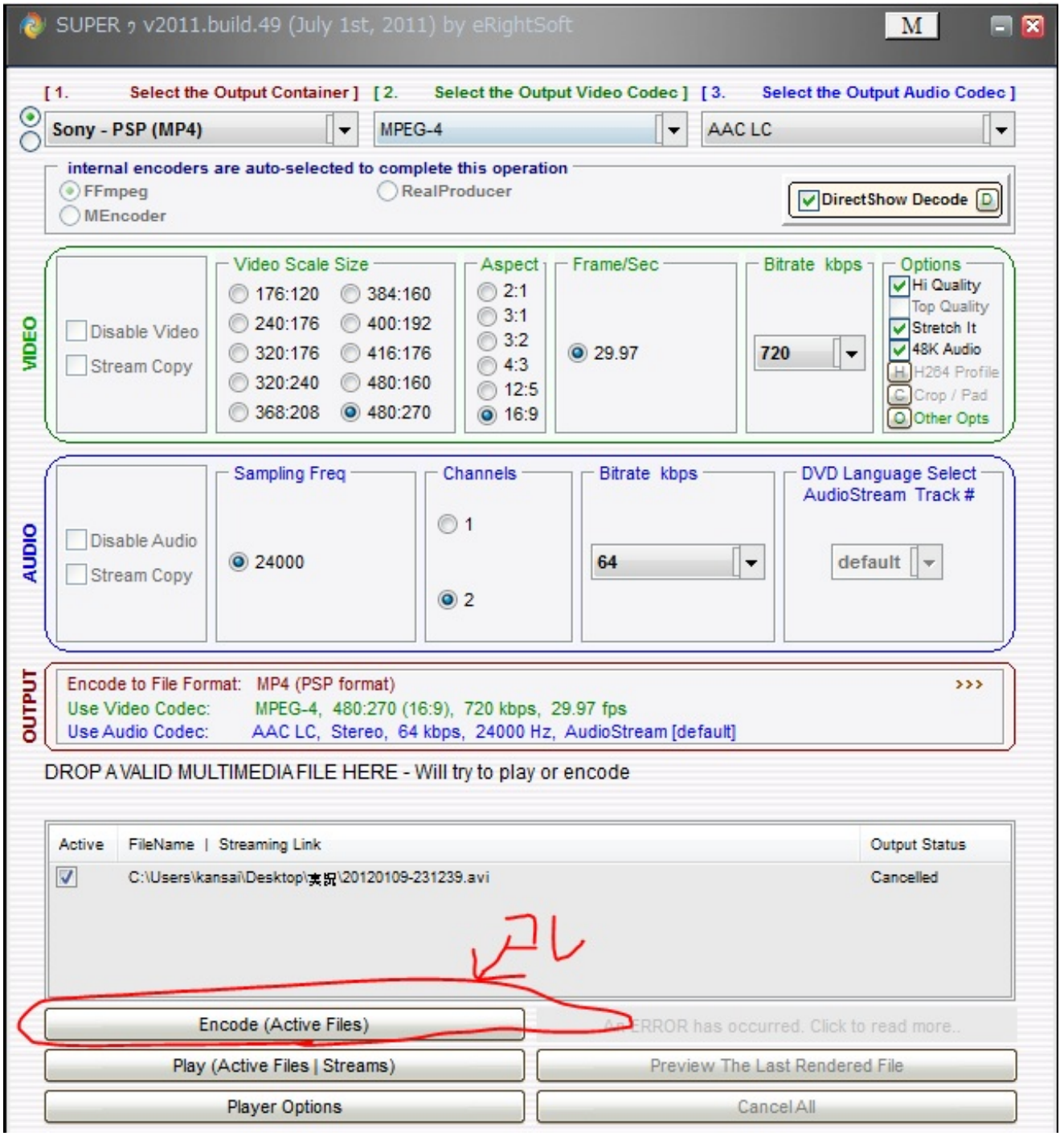
ここで変換したいファイル形式を選びます。次に、ウィンドウ内で右クリックをして現れるメニューからOutput File

Saving Managementをクリック。変換した動画を保存する場所を選びます。



コレ

保存する場所を選択したら、後はsave changesをクリックして保存先の設定も完了です。



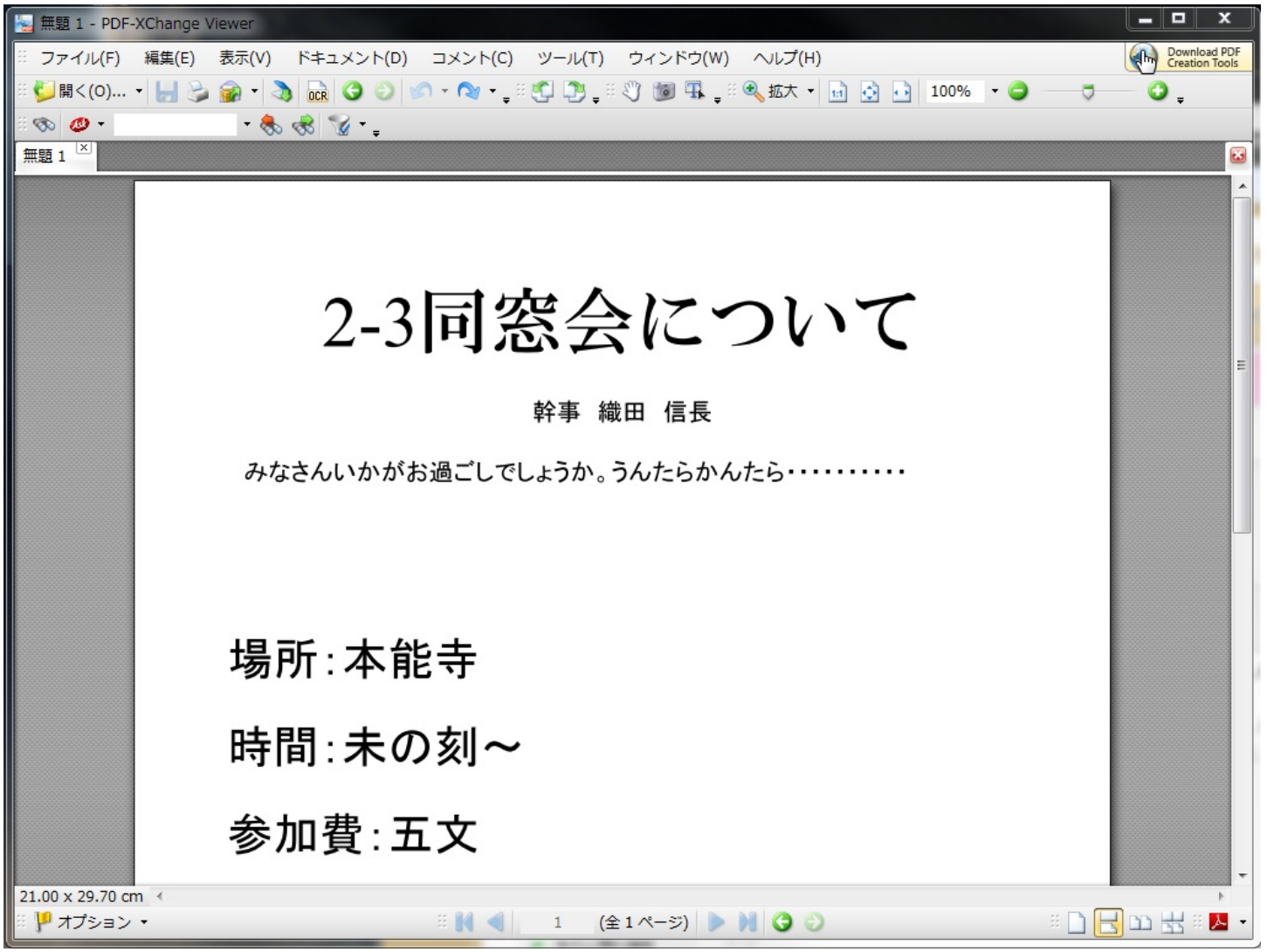
最後にencodeをクリックすると、変換が始まります。これで変換作業は終了です。

いかがでしたでしょうか。少し難しいと感じた方もいるかもしれませんが、やってみると案外簡単にできますよ。これさえできるようになれば様々な媒体で同じ動画や音楽、画像などを共有することができます。少し、チャレンジしてみてはいかがでしょうか。

PDF関連ソフト・ニュース関連ソフト

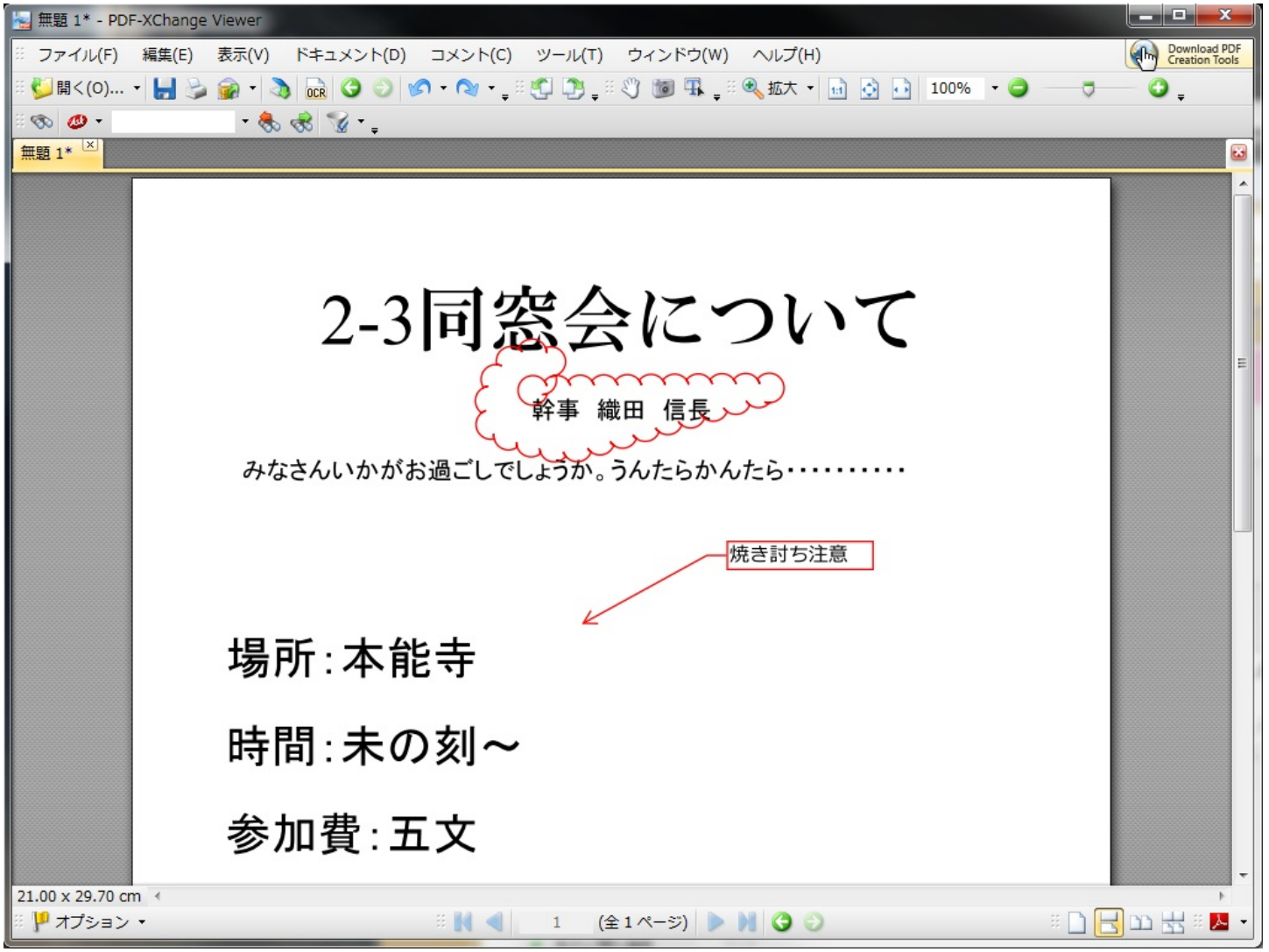
さて、長々と書かせていただきましたが、とうとう最後の項目になりました。最後までお付き合いいただければ幸いです。

まず最初にここで紹介するのは、「PDF-XChange Viewer」と呼ばれる、PDFファイル閲覧ソフトです。一見するとただのPDF閲覧ソフトに見えますが、PDFファイル内に囲み線を描きこんだり、文字を入力したり、注釈を埋め込んだりできるソフトです。



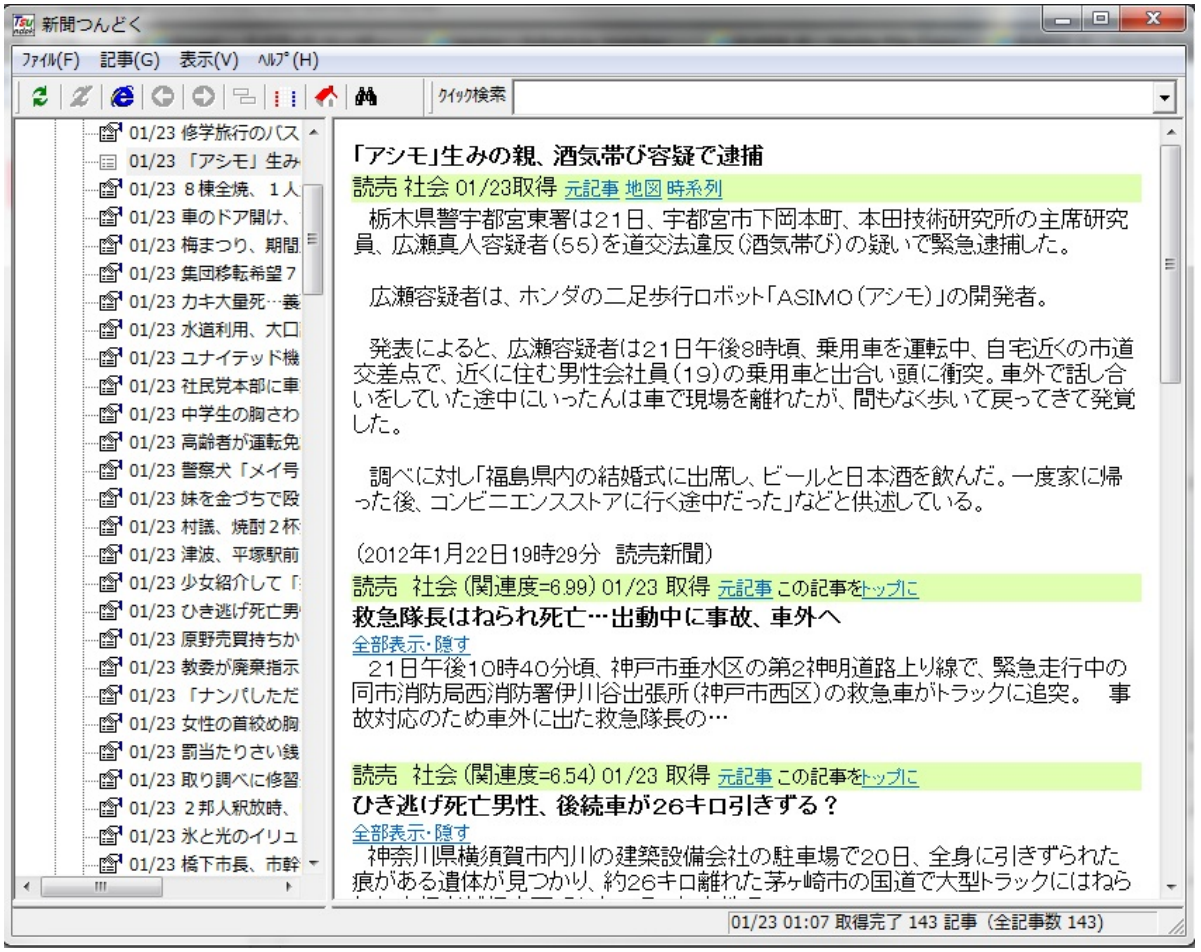
それでは例によって、少し使ってみましょう。注釈や囲み線などを入れてみます。

囲み線はツール→コメントとマークアップツール→囲み線の種類選択で入れることができます。また注釈も同じく、ツール→コメントとマークアップツール→吹き出しツールで注釈を入れることができます。やってみた結果が下の図です。



PDF形式にしたけど、少し手直ししたいなんてときに便利なツールですね。

　次に紹介するのが最後になります。新聞つんどくです。このソフトは主な新聞（五大新聞）から情報を自動収集して閲覧することができる、とても便利なソフトです。収集した記事は保存されているため、過去にさかのぼって記事を探すこともできます。また、読みたい記事をキーワード検索することもできます。インターフェースに従って操作すれば簡単に検索や記事閲覧ができます。



これで活字離れなんて言わせない！

さあ、とうとう最後のソフトウェアの紹介まで終わりました。わかりにくい説明とつたない文章で読みぐるしい点が多々あったと思います。それでも、ここまで読んでくださっているあなたはきっと、とっても心がきれいな方なのでしょうね。ここまで書くのになかなか時間もかかりましたが、案外熱中してやれた気もします。私の説明でもし万が一ソフトの使い方がおぼろげながらわかった、なんて人がいたら飛び跳ねて喜びます。最後に、ここまで読んでくださった方、また、そうでなくとも途中まで読んでくださった方、ありがとうございました。それでは。

奥付

WEBサイト・ソフトウェアの紹介と解説

http://p.booklog.jp/book/43157

著者 : okayama-c
著者プロフィール：http://p.booklog.jp/users/okayama-c/profile

感想はこちらのコメントへ
http://p.booklog.jp/book/43157

ブクログのパブー本棚へ入れる
http://booklog.jp/puboo/book/43157

電子書籍プラットフォーム：ブクログのパブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：株式会社paperboy&co.